

日本風力エネルギー学会 平成27年度(2015年度) 事業報告

(自：平成27年4月1日 至：平成28年3月31日)

(特記事項)

I. 風力発電の国内動向

我が国における風力発電の設備容量は、平成27年末には300万kWを超えました。平成27年度末の時点で環境アセスメントの手続きが終了もしくは終了間近で、且つ固定価格買取制度の設備認定を受けている案件は、約250万kWあり、それ以外に約600万kWの案件で環境アセスメントの手続きが進められています。これらの風力発電設備が確実に建設されれば、平成42年(2030年)1000万kWの政府目標も早期に達成され、さらなる加速的な導入に繋がるものと思われれます。今後、ますます学会関係者の活躍が期待される場所です

一方、風力発電の導入促進に向けた課題として、“買取制度等支援制度の安定性と早期設備認定制度等の予見性の向上”、“系統接続可能量の拡大”、“環境アセスメントの合理化と規制緩和”及び“風力発電の信頼性の向上とコストの低減”があげられます。今後、以上の課題を確実に解決するとともに、陸上から洋上、安全性から経済性、技術から社会に関わるさまざまな問題に挑戦し、風力発電導入目標設定の高度化、コスト削減等について実行することが必要です。

II. 学会活動

昨年、学会は新事務所の開設と体制強化を図り、会員相互の連絡・親睦、国内外の研究者・研究団体との交流が円滑に行われるようになりました。また特別団体会員として、6社の団体会員からご賛同を頂き、学会活動もより活発化しています。この1年間、会員サービスの向上のため、学会ロゴと学会バッジの製作、パンフレットの更新、ホームページの一新と内容の充実化を図るとともに、2013年までの学会誌・論文集のJ-STAGEへの公開、2009年から2014年までの風力エネルギーシンポジウムの予稿集のホームページへの公開を行いました。さらに風力エネルギーに関する啓発活動の一環として、「風力エネルギーハンドブック」の翻訳を進めるとともに、学会誌に連載されていた記事を「風力発電設備と雷-その影響と対策-」として発刊しました。このように平成27年度は学会活動を活発化させて、広く会員サービスに努めることができました。関係各位のご協力とご援助に感謝します。

(今後に向けて)

昨年新設した特別団体会員をさらに増やし、学会の財務基盤の強化により、学会の広報活動の拡充、学会図書の発刊、講習会の開催、ホームページの充実(学会誌・論文集等のライブラリー化)やe-learningにより、会員へのサービスのさらなる向上を図るとともに、産業界から期待されている風力発電の技術力の向上及び人材育成にも注力します。本学会は、機械工学、建設工学、電気工学のみならず、気象学、環境学、経済学等の分野の人材を有しています。この強みを生かして、我が国の風力発電分野が直面している様々な問題を解決し、風力発電のさらなる導入拡大に貢献するとともに、風力エネルギー分野の一層の発展を目指すべく、会員各位の一層のご理解、ご援助とご協力をお願いする次第です。

(概略報告/総括)

1. 総会、代表委員会、理事会の開催

- ・総会は、5月29日に開催し、平成26年度事業報告、収支報告、監査報告について審議承認をいただき、27年度の事業計画、収支予算について報告・承認された。
- ・代表委員会は、5月29日の総会前に開催した。総会の議案内容について報告し、意見交換を行った。
- ・理事会は、これまで計7回(4月21日、5月29日、7月13日、9月8日、11月5日、1月21日、3月14日)開催し、各種議案を討議した。

2. 委員会等の開催

- ・全体：昨年度に引き続き、風力エネルギー学会規定の更新を行った。
- ・企画・運営委員会：新開発の5MWダウンウィンド風車とかみす洋上発電所の見学会を開催し、52名の参加があった。第37回風力エネルギー利用シンポジウムを開催し、今年のテーマは「風力発電の活性化のために」と「日本風力エネルギー学会からの役割・主張・報告」を選んだ。昨年度に引き続き、過去のシンポジウム予稿集と学会誌をJ-STAGEに入力するとともに、学会ウェブサイトに掲載し、広く利用できる体制を構築した。新しい学会マークを制定し、学会誌やその他の出版物で使用を始めた。これに合わせてバッジを製作し販売した。年度末の学会役員改選に向けて、選挙管理委員会を作り、選挙行程を進めた。
- ・編集委員会：1.に記載された理事会のスケジュールにほぼ合わせて5回の委員会及び7回の準備会を開催、学会誌の編集方針等について検討し、予定通り学会誌を4回発行した。高田吉治氏が執筆された学会誌「風力エネルギー」の連載記事「雷」を単行本化するための検討委員会を1回開催し、風力エネルギー学会としては推薦図書とすることとし、理事会で承認された。18.にあるように、単行本は「風力発電設備と雷-その影響と対策-」として成山堂書店より平成27年10月28日に発刊された。学会誌の特集の内容は、3.学会誌の発行の通り

である。

- ・ 学術・事業委員会：風力エネルギーハンドブック研究会にて、Wind Energy Handbook の翻訳を行った。ただし完成までには至らなかったため、発刊と講習会は次年度に延期することとした。
- ・ 国際・広報委員会：原則として毎月第2木曜日に日本風力発電協会の国際部会と合同で開催。計10回（4月9日、5月14日、6月11日、7月9日、9月10日、11月12日、12月10日、1月14日、2月12日、3月10日）開催した。7.項に示す国際会議に参加して複数回の発表を実施した。海外団体（11. WWEA（世界風力エネルギー協会）と12. GWEC（世界風力会議））との交流と協力を行った。また国内イベント（10.）と出前授業（15.）にも協力した。
- ・ 表彰委員会：学会規程に基づき、功労賞、論文賞、奨励賞及びポスター賞を選出し表彰した。論文賞は前年度に学会誌「風力エネルギー」に掲載された論文を対象に、奨励賞とポスター賞はシンポジウムにおける口頭発表者とポスター制作者を対象に選定し、功労賞と奨励賞(H26)は平成27年度総会で、論文賞(H26)とポスター賞(H27)は平成27年度シンポジウムで表彰した。また学会外においても、学会が後援するイベントにおいて、日本風力エネルギー学会賞の表彰を行った。今年度は委員会を3回開催し、新たな表彰の創設も含め、本学会の表彰制度の在り方について検討した。
- ・ 論文委員会：論文審査に関わる事項や論文賞候補の選考は随時メール審議を開催している。27年度は一般投稿論文16件を審査した（内7件掲載、9件審査中・棄却等）。なお27年度は前年からの審査持ち越し2件を含め9件の論文を論文集に掲載した。

3. 学会誌の発行（第39巻）

- ・ 第1号（通巻113号）Vo. 39 No. 1 2015年5月発行 850部
特集：Grand RE2014 国際会議「風力分野」での推薦論文-その2
- ・ 第2号（通巻114号）Vo. 39 No. 2 2015年8月発行 850部
特集：国内外における風力発電の系統連系 最新情報を探る
- ・ 第3号（通巻115号）Vo. 39 No. 3 2015年11月発行 850部
特集：「風力発電関係、最近公開されたナショナルプロジェクトをまとめて紹介(NEDO編)」
- ・ 第4号（通巻116号）Vo. 39 No. 4 2016年2月発行 850部
特集：NEDO ナショナルプロジェクト平成26年度成果報告「10MW 超級風車の調査研究」の全体概要紹介

4. 風力エネルギー利用シンポジウムの開催(第37回)

- ・ 主催： 日本風力エネルギー学会
- ・ 協賛： 日本小形風力発電協会、日本風力発電協会（五十音順）
- ・ 後援： 産業技術総合研究所、新エネルギー・産業技術総合開発機構、新エネルギー財団、ターボ機械協会、日本科学技術振興財団、日本風工学会、日本太陽エネルギー学会、日本電機工業会、風力発電推進市町村全国協議会（五十音順）
- ・ 開催日： 11月26・27日
- ・ 開催場所： 科学技術館／東京
- ・ 参加者数： 338名

5. 研究会の開催

- ・ 外部受託研究の「浮体式洋上風力発電基盤調査」について、ワーキングを設置して実施した。

6. 再生可能エネルギー2015 国際フォーラムと第10回再生可能エネルギー世界展示会の開催への協力

- ・ 7月29日～31日に東京ビッグサイトで開催の同展示会において学会のPRブースを出展するとともに、31日の風力フォーラム（「風力発電大幅導入、そのブレークスルーとは何か？」）には学会として協力し、石原会長が「洋上風力発電の開発と今後の展望」について講演を行った。

7. 風力関連学会の国際会議への学会役員等の参加協力等

- ・ International Wind Power Conference 2015 (IWPC2015) 3/31～4/2 トルコ イスタンブール (GWEC 理事会 3/31)
- ・ 日本・ノルウェーエネルギーサイエンスウィーク 2015 5/27 東京 (洋上風力分科会プログラム)
- ・ RE2015 世界展示会 7/29～31 東京
- ・ APEC Workshop on Local Content Requirements in Energy 10/7・8 ベトナム ハノイ (エネルギー機器の現地調達率規制に関する APEC の検討会)
- ・ China Wind Power 2016 (CWP2015) 10/13～16 中国 北京 (GWEC 理事会 10/13)
- ・ WWEC2015 10/26～28 イスラエル エルサレム (WWEA 理事会が併催)
- ・ EWEA2015 11/17～20 フランス パリ
- ・ WindExpo2016 3/2～4 東京

8. 見学会の実施

- ・JWEA 主催見学会：8/24 日立 5MW ダウンウィンド風車とウィンドパワーかみす洋上発電所見学会 茨城県神栖市

9. 風力利用事業に関する助言等普及啓発活動

- ・風力発電推進市町村全国協議会(7/1)、全国風サミット in 庄内(10/21~23)に参加・挨拶
- ・青少年のための科学の祭典(科学技術館)に出展(ウィンドデイ行事を兼ねる) 7/25~26 千代田区/東京

10. 国内の風力関連事業への支援

- ・第16回風力エネルギー利用総合セミナー 6/25・26(足利工業大学総合研究センター：後援)
- ・第10回再生可能エネルギー世界展示会 7/29~31 東京ビッグサイト(再生可能エネルギー協議会：協賛)
展示会へ出展、世界会議等への協力
- ・世界ウィンドデイの一環の日本行事 6月~8月 全国3か所(日本風力発電協会と共同実施)
- ・第24回日本エネルギー学会大会 8/3・4(日本エネルギー学会：協賛)
- ・第21回流れのふしぎ展 8/11・12(日本機械学会：協賛)
- ・東京タワー・キッズ環境科学博士2015 10/9~10/12(東京タワー・キッズ環境科学博士2015 実行委員会)
- ・第18回全国風サミット in 庄内 10/21~10/23(風力発電推進市町村全国協議会：共催)
- ・日本地熱学会 平成27年学術講演会(別府大会) 10/21~10/24(日本地熱学会：協賛)
- ・第8回風力発電コンペ WINCOM2015 11/1(日本大学生産工学部：後援)
- ・第1回ソーラークラッカー全国大会 11/2・3(足利工業大学総合研究センター：後援)
- ・スマートコミュニティ+IoT World 東北 11/12・13(スマートコミュニティ+IoT World 東北 実行委員会：後援)
- ・第1回フラッターとその応用に関する国際シンポジウム(ISFA2016) 5/19~26(宇宙航空研究開発機構：協賛)

11. WWEA(世界風力エネルギー協会)

- ・日本支部として、研究活動と普及啓発活動に協力した。
- ・WVEC2015(イスラエル エルサレム、10/26~28)及び併催のWWEA 理事会に参加した。
- ・年次報告書(WWEA Annual Report)やWWEA Quarterly Bulletinに日本情報を提供した。

12. GWEC(世界風力会議)

- ・GWEC Japan 運営委員会を日本風力発電協会(JWPA)と共同で運営して、研究活動と普及啓発活動に協力した。
- ・GWEC 協賛の国際イベント(IWPC2015、CWP2015、EWEA2015等)に参加した。
- ・理事会(10/13 北京)に参加した。
- ・年次統計(Global Wind Statistics)、年次報告書(Global Wind Report)、メルマガ(GWEC News Letter)等に日本情報を提供した。
- ・GWEC からの情報連絡(GWEC News Letter、WindLog)を日本の風力関係者に配信した。
- ・世界ウィンドデイ行事(Global Wind Day)の日本行事27件の開催に日本風力発電協会と共同で企画・協力した。

13. 学会表彰

- ・本学会の総会、風力エネルギー利用シンポジウム及び日本大学主催の風力発電コンペ WINCOM2015において、以下のとおり各賞の表彰を行った。
- ・平成27年度総会(5月29日)
功労賞：3氏(東 昭氏、勝呂 幸男氏、林 農氏)
奨励賞：4氏(畦地 啓太氏、上原 総一郎氏、小長谷 瑞木氏、種本 純氏)
- ・第37回風力エネルギー利用シンポジウム(11月27日)
論文賞：2件(松田 寿氏他、中村 昭裕氏他)
ポスター賞：6件(竹山 優子他、田中 元史他、川端 浩和他、緒方 淳他、中島 健三郎他、見上 伸他)
- ・風力発電コンペ WINCOM2015(11月1日)
日本風力エネルギー学会賞：1件(山形県立村山産業高等学校チーム)

14. 学会誌、予稿集をJ-STAGEに掲載

- ・学会誌、シンポジウム予稿集の電子化とJ-STAGEでの定期的な公開を通じて、当学会のプレゼンスを向上するとともに、会員の記事や論文を広く公開することにより、引用数の増加及び業績評価にも貢献した。
- ・学会ホームページにシンポジウム予稿集(第31回~第36回)を公開した。

15. 風力発電の出前授業活動

- ・全国風サミット in 庄内で地元学校に出前授業(10/23 庄内町、本橋理事、牛山顧問、丹元理事)
- ・富高未来講座に講師派遣(安田理事) (大阪府立富田林高校、2016.2.9「日本が知らない風力発電の実力」)

16. 学会ホームページの充実

- ・学会ホームページ内容の充実、メニュー構成の変更と統廃合、書籍の紹介コーナーの整理と更新、沿革の追記、特別団体会員のバナーの設置等について修正を行った。

17. 投稿論文の充実

- ・9編(通巻113号～116号)の論文を掲載した。

18. 学会誌からの発刊

- ・成山堂書店から高田吉治氏(代表委員)による「風力発電設備と雷—その影響と対策(日本風力エネルギー学会推薦)」が発刊された。

19. 学会の新シンボルの制定とバッジの製作

- ・日本風力エネルギー協会時代からのロゴマークを新しいデザインに変え、併せて学会のバッジを製作した。
- ・ロゴマーク変更を海外加盟団体(GWEC,WWEA,EWEA)に通知、先方Web掲載ロゴの更新を依頼した。

20. 会員の活動(平成28年3月末日現在の会員数)

- ・特別団体会員：6団体(前年度末0団体)
- ・団体会員：66団体(前年度末71団体)
- ・個人会員：432名(含,学生会員34名/特別会員3名)(前年度末462名;含,学生会員41名/特別会員3名)
- ・名誉会員：2名(前年度末2名)
- ・購読会員：8名(前年度末7名)

(特記事項)

I. 風力発電の国内動向

平成 26 年 4 月 1 日に洋上風力発電の買取価格が設定されました。これを受けて日本各地の海域で洋上風力発電の導入が数多く計画されていますし、国土交通省港湾局は平成 27 年 3 月末に「港湾における洋上風力発電施設等の技術ガイドライン(案)」を公表しました。銚子沖・北九州市沖着床式洋上風車、福島県沖・五島沖浮体式風車が引き続き運転され、貴重なデータが取得されています。これらの洋上風力発電に係る実証研究は、我が国の再生可能エネルギー機器の代表として、洋上風力発電導入を牽引するものと思われます。学会関係者が活躍される年でした。

一方、平成 26 年も残念ながら風力発電の事故が発生しました。維持管理の課題、落雷による故障と事故のように、改めて日本の自然環境の厳しさを再認識させられた一年でした。経済産業省では風車の定期検査を義務化する電気事業法の改正手続きに入るとともに、風力発電設備の安全性評価に助成制度を設けました。風車事故を撲滅し、適切な風力発電の計画・設計・建設・維持管理を実現するために、学会員各位のご援助とご協力をお願いしたいと思います。

風力発電の導入拡大を図るために、経済産業省では「電力系統の広域的運営と電力システム改革」として、系統の整備や、電力広域的運営推進機関による電力の安定供給体制の抜本的強化と全国規模での需給整備機能の強化に取り組むことが宣言されています。これにより「風力発電のための送電網整備実証事業」、「電力系統出力変動対応技術研究開発事業」等が進められています。これらのプロジェクトの実現により、風力発電等の再生可能エネルギーの導入量が増加することが大いに期待されます。

II. 事務体制の強化と会員へのサービスの向上

平成 27 年 2 月に新しい学会事務局を神田に開設し、新事務局長と事務員により従来の週 2 日から週 5 日の体制を構築し、会員の利便性を向上させることに努めました。また、新設した特別団体会員に対して、6 機関からご賛同を得ることができ、同会員には学会ホームページにバナーを設ける等の特典を設けさせて頂くとともに、会員へのサービスの向上策も提案しました。このように、平成 26 年度は学会活動を活性化させて、広く会員サービスに努める事務体制と財政基盤を構築することができました。関係各位のご協力とご援助に感謝します。

(今後に向けて)

外部資金による受託研究を獲得し、学会の財務体質の強化に繋げるとともに、今後も学会ホームページの充実、研究会の活性化、講習会の開催等を実施します。学会としては、風力エネルギー利用に係る研究・教育に携わっておられる会員相互の連携・協力を通して、風力発電の技術振興あるいは導入促進に積極的な貢献を果たすべく、会員各位の一層のご理解、ご援助、ご協力をお願いする次第です。

(概略報告/総括)

以下の通り、主たる活動に関し、概略を報告いたします。

1. 総会の開催

・5 月 26 日に定時社員総会を開催。平成 25 年度の事業報告、収支報告、監査報告について審議承認いただき、26 年度の事業計画、収支予算について報告承認いただいた。

2. 代表委員会の開催

・5 月 26 日の総会前に開催。総会の議案内容につき報告し、意見交換を行った。

3. 理事会の開催

・4 月 23 日、5 月 26 日、7 月 23 日、9 月 9 日、11 月 6 日、1 月 22 日及び 3 月 18 日に開催、各種議案を討議した。

4. 各委員会等の開催/活動

・全体：会長選挙規定を始めとして、風力エネルギー学会の規程の見直しを行って、更新したものを学会ホームページに掲載して利用の利便性を向上させた。

・企画・運営委員会：当学会最大の行事である風力エネルギー利用シンポジウムを開催した。テーマとしては社会的に関心の高い「風力発電の研究開発と電力インフラ整備」、「風力発電の安全性とリスクマネジメント」を選んだ。また、風力エネルギーシンポジウムの過去の予稿集を、J-STAGE LITE へ掲載し、広く利用できる体制を整えるとともに、ロゴデザイン等の検討を行った。

・編集委員会：ほぼ上記理事会のスケジュールに合わせて 5 回の委員会及び 4 回の準備会を開催、学会誌の編集方針等について検討し、予定通り学会誌を 4 回発行した。通巻 111 号及び 112 号では学術・事業委員会で翻訳作業中の「風力エネルギーハンドブック」の内容を実務者向けの特集として紹介した。新たな試みとして、Grand RE2014 国際会議「風力分野」から論文を推薦し論文委員会との共同作業により論文特集号(通巻 112 号)を編集した。学会誌がアカデミックな内容に偏り過ぎないように、会員の皆様の多様なニーズにお応じられるような特

集や連載を企画し、地域創生、文化、名所・旧跡、新エネ、再エネ、風力発電をキーワードとした新連載「わがマチわがフルサト」を通巻 113 号から連載することや、「ユニークな風車、新開発の風車」等の特集を組むこととした。また、学会誌「風力エネルギー」の連載記事「雷」を単行本「風力発電施設と雷対策（仮題）」として発刊することにして、編集/監修作業に入っているが、監修委員会の開催等、次年度に継続する。

- ・**学術・事業委員会**：電気学会と合同で研究発表会（関西大学）を開催し、風力発電関連の電気工学系研究者・実務者の交流活性化を図った。風力エネルギーハンドブック研究会にて 27 年度秋の出版に向け、Wind Energy Handbook の翻訳を行った。
- ・**国際・広報委員会**：欧州の風力市場が飽和・停滞して、先進国で最後の大市场として日本に注目が高まっている。この結果、海外の風力・再生可能エネルギー団体、業界誌、コンサル会社、関連企業、大使館・商工会議所、等からの情報提供や取材、面談の依頼が年間約 100 件あった。インド、トルコ、オランダ等から風力発電関連でミッション団が来日した。GWEC や EWEA の国際行事への参加も恒例化している。（詳細は後述の各種活動内容を参照。）
- ・**表彰委員会**：委員会名称を「表彰・啓発委員会」から「表彰委員会」に改め、表彰・啓発委員会規程及び表彰規程を見直し、それぞれ「表彰委員会規程」及び「表彰者選考手続き」に改訂した。改訂に合わせ「出版賞」を新設した。また特別功労賞、論文賞、奨励賞を選出し、特別功労賞、論文賞はシンポジウムで、奨励賞は平成 27 年度総会で表彰する。なお、シンポジウムではポスター賞も表彰した。新たな表彰についても検討を開始した。
- ・**論文委員会**：26 年度は一般投稿論文 15 件を審査した（内 8 件掲載、7 件審査中）。なお、26 年度は前年からの審査持ち越し 4 件を含め 12 件の論文を論文集に掲載した。これらとは別に通巻 112 号の Grand RE2014 国際会議推薦論文特集への対応として 13 件の論文を審査し、10 件を 112 号に掲載、1 件を次年度 113 号に掲載、2 件を返却した。またシンポジウムにおいて座長から推薦された発表論文について論文集への投稿を依頼したほか、奨励賞候補を表彰委員会へ推薦した。25 年度に論文集に掲載された論文の中から論文賞候補論文について審議し表彰委員会へ推薦した。

5. 学会誌の発行（第 38 巻）

- ・第 1 号（通巻 109 号）Vol.38 No.1 2014 年 5 月発行 900 部
特集：風力発電の地域導入への取り組みと社会受容性向上、並びに地域振興を目指して
- ・第 2 号（通巻 110 号）Vol.38 No.2 2014 年 8 月発行 900 部
特集：新理事が語る風力エネルギー利用に向けた抱負、風車に関する普及啓発教育現場からの発信
- ・第 3 号（通巻 111 号）Vol.38 No.3 2014 年 11 月発行 900 部
特集：風車の設計と風力エネルギーハンドブック紹介、更なる風力エネルギー利用に向けて
- ・第 4 号（通巻 112 号）Vol.38 No.4 2015 年 2 月発行 900 部
特集：Grand RE2014 国際会議「風力分野」での推薦論文、風力エネルギーハンドブック紹介（その 2）

6. 風力エネルギー利用シンポジウムの開催（第 36 回）

- ・共催：日本科学技術振興財団
- ・協賛：日本風力発電協会、日本小形風力発電協会
- ・後援：新エネルギー・産業技術総合開発機構、産業技術総合研究所、新エネルギー財団、日本電機工業会、ターボ機械協会、日本太陽エネルギー学会、風力発電推進市町村全国協議会、日本風工学会
- ・開催日：11/27～28
- ・開催場所：科学技術館／東京
- ・参加者数：363 名

7. グランド再生可能エネルギー2014 国際会議・展示会の開催への協力

- ・東京ビッグサイトにて開催された（7/27～8/1）。風力発電で 165 件、洋上風力発電で 26 件の論文発表があり、その多くが JWEA 関係者によって行われた。PR ブースの出展でも協力した。

8. 風力関連学会の国内及び国際会議への学会役員等の参加協力等

- ・WVEC2014 4/7～9 中国 上海（WWEA 理事会）
- ・AWEA Windpower 2014 5/5～7 米国ラスベガス（GWEC 年次総会と理事会 5/7）
- ・Grand RE2014 7/27～8/1 東京
- ・トルコ南マルマラ州開発公社のミッション団来日 9 月
- ・GWEC 理事会 10/21 中国 北京
- ・講演会「浮体式洋上風力発電に関する米国の最新動向」 10/21 九大
- ・日米浮体式洋上セミナー 10/23 東大
- ・オランダ洋上風力発電ミッション団の来日 10 月
- ・次期 IECRE 議長の Sandy Butterfield 氏との交流会 11/11

- ・インド Andhra Pradesh&Telangana 州のミッション団来日 10～12 月
- ・WindExpo2015 国際展示会 2015/2/25～27 東京
- ・EWEA Offshore 2015 2015/3/10～12 デンマーク コペンハーゲン
- ・IWPC2015、2015/3/31～4/2 トルコ イスタンブール (GWEC 理事会 3/31)

9. 日本太陽エネルギー学会との合同研究発表会及び見学会の開催

- ・見学会 11/12 産総研 福島再生可能エネルギー研究所
- ・研究発表会 11/13～14 福島県いわき市いわき文化センター

10. 風力利用事業に関する助言等普及啓発活動

- ・青少年のための科学の祭典(科学技術館)に出展 7/26～27 千代田区/東京
- ・風力発電推進市町村全国協議会 総会 6/25 他

11. 国内の風力関連事業/催しへの協力

- ・世界ウィンドデイの一環の日本行事 5/20～7/28 20 か所 (日本風力発電協会と共同実施)
- ・スマートコミュニティ Japan2014 6/18～20 (日刊工業新聞:協賛)
- ・第15回風力エネルギー利用総合セミナー 6/26～27 (足利工業大学総合研究センター:後援)
- ・再生可能エネルギー2014 国際会議と再生可能エネルギー2014 世界展示会
7/28～8/1 東京ビックサイト (再生可能エネルギー協議会:協賛)
展示会へ出展、国際会議への協力等
- ・第23回日本エネルギー学会大会 7/19～20 (日本エネルギー学会:協賛)
- ・第20回流れのふしぎ展 8/12～13 (日本機械学会:協賛)
- ・第7回風力発電コンペ WINCOM2014 11/2 (日本大学生産工学部:後援)
- ・スマートコミュニティ東北2014 10/14～15 (スマートコミュニティ東北実行委員会:後援)
- ・第17回全国風サミット in 平戸 10/28～29 (平戸市、風力発電推進市町村全国協議会:共催)
- ・日本地熱学会平成26年学術講演会 10/29～11/1 (日本地熱学会:協賛)

12. EWEA (欧州風力エネルギー協会)

- ・日本支部として、研究活動と普及啓発活動に協力した。
- ・EWEA と GWEC が主催する世界ウィンドデイ (Global Wind Day) では、20 件の国内イベントを行った。

13. WWEA (世界風力エネルギー協会)

- ・日本支部として、研究活動と普及啓発活動に協力した。
- ・WWEA2014 (中国上海、4/7～9)及び併催の WWEA 理事会に参加した。
- ・WWEA Quarterly Bulletin に日本情報を提供した。

14. GWEC (世界風力会議)

- ・GWEC Japan 委員会を日本風力発電協会(JWPA)と共同で運営して、研究活動と普及啓発活動に協力した。
- ・GWEC 協賛の AWEA Windpower 2014 と IWPC2015 に参加した。
- ・年次総会(米国ラスベガス、5/7)、理事会(同左と北京 10/21 の2回)に参加して積極的に交流した。
- ・Steve Sawyer 事務局長の来日時に交流会(3/2)を開催した。
- ・年次統計(Global Wind Statistics)、年次報告書(Global Wind Report annual market update)、メルマガ(GWEC News Letter)等に日本情報を提供した。

15. 学会表彰の授与

- ・総会にて 奨励賞 4 件
- ・風力エネルギー利用シンポジウムにて 特別功労賞 1 件(長井浩氏)、論文賞 1 件(浅生利之氏)
ポスター賞 7 件
- ・風力発電コンペ WINCOM2014 にて 日本風力エネルギー学会賞 1 件

16. 風力発電の出前授業活動

- ・日本の将来を担う子供たちに風力発電に親しんでもらう目的で、日本風力発電協会と協力して出前授業を数回実施した。
- ・日本エネルギー環境教育学会(JAEEE)の第9回全国大会(8/9～10 東邦大学習志野キャンパス)で JWEA の出前授業活動を紹介した。
- ・安田理事が兵庫県立洲本実業高校で出前授業を実施(11/26)、地元のテレビや新聞でも紹介された。

17. 会員の動向(3月末日現在の会員数)

- ・団体会員 71 団体（前年度末 70 団体）
- ・個人会員 464 名（内 学生会員 41 名、特別会員 3 名、名誉会員 2 名）
（前年度末 461 名（内学生 37 名、特別 3 名、名誉 2 名））

日本風力エネルギー学会 2013年度(平成25年度) 事業報告
(自:2013年4月1日 至:2014年3月31日)

(特記事項)

1. 洋上風車元年

平成25年度は洋上風車元年と呼んでも良いような年になりました。銚子沖洋上風車、北九州沖洋上風車、いわき沖浮体式風車、五島沖浮体式風車が建設され運転が開始されています。今後の我が国の風力発電導入を牽引するものとして、また再生可能エネルギー機器の代表として今後益々導入促進が図られることとなると思われまます。引き続き学会関係者の各方面での活躍が期待される年でした。

2. 系統線増強プロジェクトと環境アセス

未利用の豊富な風資源が存在する北海道北部と青森県・秋田県周辺の系統線の増強プロジェクトの本格的な検討が始まりました。今まで賦存エネルギーがあるにも拘らず系統連系が出来ないという残念なことがありましたが、これらのプロジェクトが実現すれば、大きく風力発電等の再生可能エネルギーの導入量が増加することが期待されます。

また学会でも EWEA の系統連系に関する報告の翻訳版の学会誌掲載、および出版等と講習会を行い系統連系の課題に対する一つの先例を示し、関係者の理解を求めました。しかしながら平成25年度の我が国の風車導入量は期待に反してわずかなものとなりました。その原因は環境アセスメントの適用によるもので太陽光発電装置の増加に比し少し寂しいものとなりました。環境アセスの関連では、低周波音を含んだ音の問題やバードストライク等と絡んだ、いわゆる社会的受容性の重要性も増しています。今後の風力発電の導入に向けて今まで以上の努力が必要です。

3. 会員へのサービスの向上

学会ホームページの更新や J-STAGE に依る学会誌の閲覧開始等関係各位の努力で新しいサービスを始めることが出来ました。また風力シンポジウムの参加費低減と会費の維持を図り世の中が何となく値上げに動いている状況の中で何とか会員各位にご迷惑をお掛けすることなく一年を終えることが出来ました。関係各位のご協力とご援助に感謝します。

(今後の課題)

本年の風力発電で後年への課題として残ったものの第一は事故の多発であろうと思います。機器の課題、落雷による故障と事故といったように多くの風車で日本の自然の凄さを再認識させられた一年であったと思います。平成26年度はこの様な事故を撲滅して更なる安定した運転を行い、関係各位の安心を得られるような風力発電の計画・設計・建設を実現するために、学会員各位のご援助とご協力をお願いしたいと思います。

一方で、学会の財政も厳しい状況になっております。今後皆様には更なるご協力をお願いすることがあるかと思ひます。学会としては風力発電技術の向上と安全、安心、安定した機器とするための技術開発・機器開発に積極的な貢献も果たしていきたく、会員各位の一層のご理解、ご援助ご協力をお願いする次第です。

(概略報告/総括)

以下の通り、主たる活動に関し、概略を報告いたします。

1. 総会の開催

5月27日に定時社員総会を開催。24年度の事業報告、収支報告、監査報告について審議承認いただき、25年度の事業計画、収支予算について報告承認いただいた。

2. 代表委員会の開催

5月27日の総会前に開催。総会の議案内容につき報告し、意見交換を行った。

3. 理事会の開催

4月19日、5月27日、7月19日、9月13日、11月6日、2014年1月20日及び3月19日に開催、各種議案を討議した。

4. 各委員会等の開催/活動

- ・**企画・運営委員会**: 当学会最大の行事である風力エネルギー利用シンポジウムについて協議開催した。また見学会の開催、科学の祭典等を実行した。シンポジウムの参加登録・発表申込に Web 登録システムを導入した。
- ・**編集委員会**: ほぼ上記理事会のスケジュールに合わせて開催、学会誌の編集方針等について検討し、予定通り学会誌を4回発行した。また、学会誌「風力エネルギー」の連載記事「雷」を単行本「風力発電施設と雷対策(仮題)」として発刊することにして編集/監修作業に入っているが、次年度に継続する。
- ・**学術・事業委員会**: 前年に引き続き、洋上風力発電の技術講習会を開催した(東京大学)。また、風力発電導入のための電力系統工学を翻訳出版し技術講習会を開催した。風力エネルギーハンドブック研究会を発足させ Wind Energy Handbook の翻訳を開始した。
- ・**国際・広報委員会**: 欧州と米国で風力市場が低迷し、先進国で最後の大市场として日本に注目が高まっている。この結果、海外の風力・再生エネルギー団体、業界誌、コンサル会社、関連企業、大使館・商工会議所、等からの情報提供や取材、面談の依頼が年間約100件に増加した。GWEC や EWEA の国際行事への参加も恒例化している。

(詳細は後述の各種活動内容と海外への広報活動を参照。)

- ・表彰啓発委員会：功労賞、奨励賞、論文賞を選出し、功労賞、奨励賞は総会で、論文賞はシンポジウムで表彰した。なお、シンポジウムではポスター賞も表彰した。出版賞の検討を開始した。
- ・論文委員会：25年度は投稿論文11件を審査した(内6件掲載、5件審査中)。なお、25年度は前年からの持ち越し5件を含め11件の論文を論文集に掲載した。またシンポジウムにおいて座長から推薦された発表論文について論文集への投稿を依頼したほか、奨励賞候補を表彰啓発委員会へ推薦した。24年度に論文集に掲載された論文の中から論文賞候補論文について審議し表彰啓発委員会へ推薦した。

6. 学会誌の発行

第37巻 第1号 (通巻105号)	2013年	5月発行	1000部
特集：風車に対する風況解析と荷重連成解析			
〃 第2号 (通巻106号)	2013年	8月発行	1000部
特集：洋上風力発電とわが国の実証プロジェクト全貌			
〃 第3号 (通巻107号)	2013年	11月発行	1000部
特集：風力発電、大容量導入を可能にする系統技術の最前線			
〃 第4号 (通巻108号)	2014年	2月発行	1000部
特集：革新が進む風力発電機器と風車の大型化			

7. 風力エネルギー利用シンポジウムの開催(第35回)

共催：日本科学技術振興財団

協賛：日本風力発電協会、日本小形風力発電協会

後援：外務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、新エネルギー・産業技術総合開発機構、産業技術総合研究所、新エネルギー財団、日本電機工業会、ターボ機械協会、日本太陽エネルギー学会、風力発電推進市町村全国協議会、日本風工学会

11月12日(火)～13日(水) 科学技術館/東京 (参加者362名)

8. 第8回再生可能エネルギー世界展示会の開催への協力

東京ビックサイト(7月24日～26日)において開催されたが、風力のフォーラムを開催するとともに、PRブースの出展(日本太陽エネルギー学会と合同にて)により協力した

9. 風力関連学会の国内および国際会議への学会役員等の参加協力等

- 1) IEC ExCo 国際会議、2013/4/9・10、京都
- 2) AWEA Windpower 2013、5/5～8、米国 シカゴ (GWEC 年次総会と理事会 5/7)
- 3) WWEC2013、6/3～5、キューバ ハバナ (WWEA 理事会)
- 4) オランダ大使館主催再生エネルギーセミナー、6/26、横浜
- 5) RE2013、7/24～26、東京 (日仏洋上セミナー)
- 6) ノルウェー大使館主催洋上風力ワークショップ、8/29、東京
- 7) GWEC 理事会、10/15 中国 北京
- 8) NACE EAP Conference & Expo 2013 (国際腐食防蝕会議)、11/11～13、京都
- 9) APEC 風力エネルギー導入ワークショップ、11/25・26、ベトナム ハノイ
- 10) WindExpo2014 国際展示会、2014/2/26～28、東京
- 11) EWEA2014、3/10～13、スペイン バルセロナ (GWEC 市場開拓 Workshop 3/11、EWEA 広報連絡会 3/14)

10. 見学会の実施

- ・九州大学博多湾風レンズ風車&NEDO 技術開発機構・電源開発(株)北九州市沖の洋上風力発電所見学会 8月7日
- ・日本太陽エネルギー学会共催の合同研究発表会見学会 11月27日 糸満観光農園(600kW 風力発電)→平和記念公園→糸満市役所(太陽光発電・日除け・採光等の省エネ建築)→比嘉酒造(バイオマス発電)
- ・日本太陽エネルギー学会共催の合同研究発表会見学会 宮古島 11月30日 メガソーラー実証研究施設・風力発電施設)

11. 日本太陽エネルギー学会と共催の合同研究発表会 11月28-29日 那覇市市町村自治会館

12. 風力利用事業に関する助言等普及啓発活動

- ・青少年のための科学の祭典(科学技術館)に出展 7月27-28日 千代田区/東京
- ・風力発電推進市町村全国協議会 総会6月25日 他

13. 国内の風力関連事業/催しへの協力

- ・再生可能エネルギー2013世界展示会 7月24日～26日 東京ビックサイト
展示会へ出展、セミナー等への協力(再生可能エネルギー協議会：協賛)
- ・世界ウインドデイの一環の日本行事 6月15日～7月28日 12か所(日本風力発電協会と共同実施)
- ・第6回風力発電コンペ WINCOM2013 11月3日(日本大学生産工学部：後援)
- ・第19回流れのふしぎ展 8月13日～14日(日本機械学会：協賛)
- ・第14回風力エネルギー利用総合セミナー 6月27日～28日(足利工業大学総合研究センター：後援)
- ・第22回日本エネルギー学会大会 8月5日～6日(日本エネルギー学会：協賛)

- ・日独科学シンポジウム 21 世紀のエネルギー 5月21日 (ドイツバーデンヴェルテンベルク州: 後援)
- ・第 52 回電気科学技術講演会 4月17日 (電気科学技術奨励会: 協賛)
- ・雷害対策のための風力発電設置システム 7月22日 (電気学会東海支部: 協賛)
- ・スマートコミュニティ Japan2013 5月29日~31日 (日刊工業新聞: 協賛)
- ・日本地熱学会平成 24 年学術講演会 11月7日~9日 (日本地熱学会: 協賛)
- ・Japan Home & Building Show2013 10月23日~25日 (日本能率協会: 協賛)
- ・NEDO 技術フォーラム in 九州(2013) 11月19日 (NEDO: 協賛)
- ・風況予測モデルソフトウェア講習会 2014年3月4日 (日本太陽エネルギー学会: 協賛)

1 4. EWEA (欧州風力エネルギー協会)

- ・日本支部として、研究活動と普及啓発活動に協力した。
- ・EWEA2014(バルセロナ、2014/3/10~13)に参加して、広報連絡会 (Communication Academy) に参加、日本の状況を報告した。
- ・EWEA と GWEC が主催する世界ウインドデイ行事 (Global Wind Day) では、12 件の国内イベントを行い、啓蒙活動に協力した。

1 5. WWEA (世界風力エネルギー協会)

- ・日本支部として、研究活動と普及啓発活動に協力した。
- ・WWEA2013 (キューバ ハバナ、6/3~5)および併催の WWEA 理事会に参加した。
- ・年次報告書 (WWEA Annual Report) や四季報 (WWEA Quarterly Bulletin) に日本情報を提供した。

1 6. GWEC (世界風力会議)

- ・GWEC Japan 委員会を日本風力発電協会(JWPA)と共同で運営して、研究活動と普及啓発活動に協力した。
- ・GWEC 協賛の AWEA Windpower 2013 と EWEA2014 に参加した。
- ・年次総会 (シカゴ、5/7)、理事会 (同左と北京 10/15 の 2 回)、および市場開拓ワークショップ (バルセロナ、3/11)、などの GWEC 行事に参加して積極的に交流した。
- ・年次統計 (Global Wind Statistics)、年次報告書 (Global Wind Report annual market update)、メルマガ (GWEC News Letter) などに日本情報を提供した。

1 7. 海外への広報活動

- ・再生可能エネルギーの国際業界誌「Recharge」の日本特集号 (2014 年 2 月号) に対し、企画段階から協力した。日本風力発電協会 (JWPA) と共に、掲載記事の提案および具体的な取材先の斡旋等を行った。
- ・この他にも適時、海外に情報提供を行い、多数の海外記事の掲載に繋がっている。

1 8. 会員の動向

3 月末日現在の会員数は、団体会員 70 団体 (70 口) (前年度末 71 団体) 個人会員 461 名 (内 学生会員 37 名、特別会員 3 名、名誉会員 2 名) (前年度末 466 (内学生 45、特別 2、名誉 2))

1 9. 学会表彰制度の実施

- | | |
|------------------------|-------------------------------------|
| ・総会にて | 功労賞 1 件 (橋本保氏)、奨励賞 6 件授与 |
| ・風力エネルギー利用シンポジウムにて | 論文賞 2 件 (山田達郎氏、河野孝昭氏)、論文ポスター賞 4 件授与 |
| ・流れの不思議展にて | 日本風力エネルギー学会賞 2 件授与 |
| ・風力発電コンペ WINCOM2012 にて | 日本風力エネルギー学会賞 1 件授与 |

2 0. 風力発電の出前授業活動

- ・日本の将来を担う子供たちに風力発電に親しんでもらう目的で出前授業 WG を正式発足させ、活動を開始した。
- ・JWEA 会員へのアンケート調査結果を JWEA 学会誌で報告した。
- ・出前授業用の説明資料と教材の収集と整備を開始した。
- ・日本エネルギー環境教育学会 (JAEEE) に、授業の受け手となる学校とのパイプ役を依頼した。

日本風力エネルギー学会 2012年度(平成24年度) 事業報告

(自：2012年4月1日 至：2013年3月31日)

(特記事項)

1. 日本における FIT 制度の導入

昨年7月1日に再生可能エネルギー電力の買取りに固定価格制度が導入され、日本の風力発電導入拡大に対する期待は日本の内外で大きく高まり、海外の関連団体との交流も拡大・深化する結果となりました。

一方で、10月から始まった環境アセス法の適用もあり、環境アセス法的な制約のない太陽光と比べて、風力発電の新規導入拡大への導入拡大への FIT 導入の効果は限定的となっています。

2. 各種洋上風力プロジェクトがスタート

我国では未利用の豊富な風資源が洋上に賦存していますが、昨年は国や NEDO が支援する複数の洋上プロジェクトが実質的にスタートしました。これらには、当学会の会員/団体会員も参加しています。また、当学会が主催したシンポジウムでも洋上風力を大きく取り上げ、種々の角度から専門家に講演頂き、活発な質疑が行われました。更に、昨年当学会が翻訳・出版した「洋上風力発電」を使用した講習会を大阪で開催し、多数の参加を得ることができました。

3. 会員へのサービスの向上

昨年学会ホームページを更新し、ホームページのデザインの変更および内容の充実により、画面を見やすくすると共に、過去の学会誌・シンポジウム予稿集の論文を利用しやすくしました。また風力エネルギー利用シンポジウムの事務の低減、プログラム編集の迅速化のために、シンポジウムに関する電子投稿システムを構築し、論文の登録と投稿をしやすくしました。さらに、団体会員と正会員へのサービスの向上のために、団体会員の講習会への参加費の低減および無料講習会の実施を行いました。

(今後の課題)

日本の風力発電の導入拡大のための最大の課題は電力系統への連系問題と考えます。当学会では、既に各種のセミナーや講演会を主催・共催していますが、今後とも当学会としての役割を認識し、積極的に建設的な提言等を行うことも検討して行きたいと考えています。また、積極的な会員各位並びに外部への有用な情報の発信を実現するためにも、既に手掛けている学会ホームページの改善、外部機関(J-Stage 等)を活用した学会誌やシンポジウム予稿集の公開にも取り組んで参ります。

(概略報告/総括)

以下の通り、主たる活動に関し、概略を報告いたします。

1. 総会の開催

5月24日に第1期目の定時社員総会を開催。23年度の事業報告、収支報告、監査報告、役員選出について審議承認いただき、24年度の事業計画、収支予算について報告承認いただいた。

2. 代表委員会の開催

5月24日の総会前に開催。総会の議案内容につき報告し、意見交換を行った。

3. 理事会の開催

4月23日、5月24日、7月10日、9月18日、11月28日、2013年1月21日及び3月21日に開催、各種議案を討議した。

4. 各委員会等の開催/活動

・企画・運営委員会：当学会最大の行事である秋季シンポジウムについて協議開催した。また見学会の開催、科学の祭典や RE2012 展示会等への出展等を実行した。さらには流れの不思議展や WINCOM2012 への学会賞贈呈等を行った。

・編集委員会：ほぼ上記理事会のスケジュールに合わせて開催、学会誌の編集方針等について検討し、予定通り学会誌を4回発行した。また、編集委員会の役割分担を決定した。

・学術・事業委員会：前年に翻訳出版した「洋上風力発電」を使って大阪での講習会を開催した。また JEMA と共催で国際ワークショップの開催、電力系統における風力発電学術研究会を開催した(継続中)。次の海外文献の翻訳・出版として「電力系統における風力発電」について検討を開始した。

・国際・広報委員会：昨年7月の FIT 導入を契機に日本における風力発電の導入拡大に対する海外の期待が大きく高まった。その結果、従来の EWEA, GWEC, WWEA 等への協力に加えて、他の海外再生エネルギー団体や業界誌、コンサル会社からの問合せ・情報提供依頼が年間48件へと急増した。

GWEC 理事会参加と EWEA カンファレンスでの日本紹介発表も恒例になり、さらに韓国・台湾他のアジア地域の関連団体との交流も活発化している。

また、風力の先端技術を討議する国際組織 IEA Wind の Task25「系統連系」の国際会議が日本で開かれたり、民間による新しい国際展示会 WindExpo も始まるなど、非常に忙しい1年となった。

(詳細は後述の各種活動内容を参照。)

・表彰啓発委員会：功労賞、奨励賞、論文賞を選出した。功労賞、奨励賞は総会で、論文賞はシンポジウムで表彰

した。なお、シンポジウムではポスター賞も表彰した。

・論文委員会：次世代風力発電技術開発、着底式・浮体式洋上風力発電、風車騒音低減技術等の各種国家プロジェクトが進められ、また研究成果を国内・国際標準に反映する活動も活発になり、風力発電に関わる研究も幅広くなってきた。投稿された論文の分野も広がりつつあり、24年度は投稿論文11件を審査した（内6件掲載、4件審査中、1件返却）。なお、24年度は前年からの持ち越し6件を含め12件の論文を論文集に掲載した。またシンポジウムにおいて座長から推薦された発表論文について論文集への投稿を依頼したほか、奨励賞候補を表彰啓発委員会へ推薦した。23年度に論文集に掲載された論文の中から論文賞候補論文について審議し表彰啓発委員会へ推薦した。

6. 学会誌の発行

- | | | | |
|------------------------------------|-------|-------|-------|
| 第36巻 第1号 (通巻101号) | 2012年 | 5月発行 | 1000部 |
| 特別企画：～風力発電普及に向けた産学協働をさらに高めるために～その3 | | | |
| 〃 第2号 (通巻102号) | 2012年 | 8月発行 | 1000部 |
| 特集：日本風力エネルギー学会「新たな活動に向けて」～代表委員所信 | | | |
| 〃 第3号 (通巻103号) | 2012年 | 11月発行 | 1000部 |
| 特集：小形風車の普及促進に向けた課題と挑戦 | | | |
| 〃 第4号 (通巻104号) | 2013年 | 2月発行 | 1000部 |
| 特集：風車発生音に対する解析、予測、対策技術 | | | |

7. 風力エネルギー利用シンポジウムの開催(第34回)

共催：日本科学技術振興財団

協賛：日本風力発電協会、日本小形風力発電協会

後援：外務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、新エネルギー・産業技術総合開発機構、産業技術総合研究所、新エネルギー財団、日本電機工業会、ターボ機械協会、日本太陽エネルギー学会、風力発電推進市町村全国協議会、日本風工学会

11月27日(火)～28日(水) 科学技術館/東京 (参加者398名)

8. 第7回再生可能エネルギー世界展示会の開催への協力

幕張メッセ(12月5日～7日)において開催されたが、風力のフォーラムを開催するとともに、PRブースの出展(日本太陽エネルギー学会と合同にて)により協力した

9. 風力関連学会の国内および国際会議への学会役員等の参加協力等

- 1) EWEA2012、2012/4/16～19、デンマーク コペンハーゲン
(GWEC 年次総会と理事会 4/15、日本紹介発表 4/17、EWEA 広報連絡会 4/17)
- 2) 再生可能エネルギー国際展示会、4/20、名古屋
- 4) WWEC2012、7/3～5、独 Bonn
- 5) 環太平洋自然エネルギー国際フォーラム、7/26・27、秋田
- 6) モンゴル風力エネルギー協会との交流会、9/7、東京
- 7) IEA Task25「系統接続」Workshop、10/15、東京
- 8) IEA Wind Task 25 国際会議、10/23、東京
- 9) IEA Wind ExCo 国際会議、10/23・24、東京
- 10) Renewable Energy Forum、10/25・26、韓国 扶安
- 11) ICRERA2012、11/12～14、長崎
- 12) China Windpower 2012 (CWP2012)、11/15～17 中国 北京
(GWEC 理事会 11/14)
- 13) 台湾風車工業会 (TWTIA) の Offshore Wind Seminar、11/21・22、台北・台中
- 14) 日米再生可能エネルギー円卓会議、12/3、東京
- 15) 台湾風車工業会 (TWTIA) との交流会、12/4、東京
- 16) RE2012 国際展示会、12/5～7、幕張
- 17) EWEA2013、2013/2/4～7、オーストリア ウィーン
(GWEC 新興市場 Workshop 2/6、日本紹介発表 2/7、EWEA 広報連絡会 2/7)
- 18) Wind Energy Asia 2013 (WEA2013)、2/24～26 韓国 濟州島

10. 見学会の実施

- ・日本太陽エネルギー学会との合同研究発表会(共催)の北九州(風力・メガソーラ)見学会 11月7日(火)
- ・神栖の洋上風力発電所見学説明会 8月7日(火)

11. 日本太陽エネルギー学会と共催の合同研究発表会 11月8-9日 北九州

12. 風力利用事業に関する助言等普及啓発活動

- ・青少年のための科学の祭典(科学技術館)に出展 7月27日から3日間 千代田区/東京
- ・風力発電推進市町村全国協議会 総会 6月29日 他

13. 国内の風力関連事業/催しへの協力

- ・再生可能エネルギー2012世界展示会 12月5日～7日 幕張メッセ
展示会へ出展、セミナー等への協力(再生可能エネルギー協議会：協賛)

- ・世界ウインドデイの一環の日本行事 6月6日～29日 銚子市、横浜市など（日本風力発電協会と共同実施）
- ・風力発電コンペ WINCOM2012 11月4日（日本大学生産工学部：後援）
- ・第18回流れのふしぎ展 8月11日～12日（日本機械学会：協賛）
- ・第13回風力エネルギー利用総合セミナー 6月28日～29日（足利工業大学総合研究センター：後援）
- ・第2回環太平洋自然エネルギー国際フォーラム 7月26日～27日（同実行委員会：後援）
- ・第21回日本エネルギー学会大会 8月6日～7日（日本エネルギー学会：協賛）
- ・みんなのエネルギーフェスタ2012 8月11日～13日（みんなのエネルギー会議：後援）
- ・ドイツ風力エネルギー技術セミナー2012 9月13日（ドイツ連邦経済技術省：後援）
- ・第16回全国風サミット in わっかない 9月20日～21日（風力発電推進市町村全国協議会：共催）
- ・風災害フォーラム・強風災害の変遷と教訓 10月10日（日本風工学会：後援）
- ・日本地熱学会平成24年学術講演会 10月24日～26日（日本地熱学会：協賛）
- ・第3回OETR（海洋エネルギー東北再生）シンポジウム 11月1日（東京大学：後援）
- ・Japan Home & Building Show2012 11月14日～16日（日本能率協会：協賛）
- ・第9回自然エネルギー利用総合セミナー 11月22日～23日（足利工業大学：後援）
- ・第22回風工学シンポジウム 12月5日～7日（日本風工学会他：協賛）
- ・ドイツ風力エネルギーシンポジウム2013 2013年2月26日（ドイツ商工会議所：後援）

14. EWEA（欧州風力エネルギー協会）

- ・日本支部として、研究活動と普及啓発活動に協力した。
- ・EWEA2012（コペンハーゲン、2012/4/16～19）とEWEA2013（ウィーン、2013/2/4～7）に参加して、日本紹介発表と広報連絡会（Communication Meeting）出席を行った。
- ・EWEAとGWECが主催する世界ウインドデイ行事（Global Wind Day）では、4人のアンバサダーの選出と11件の国内イベントを行い、啓蒙活動に協力した。

15. WWEA（世界風力エネルギー協会）

- ・日本支部として、研究活動と普及啓発活動に協力した。
- ・WWEA2012（独 ボン、7/3～5）および併催のWWEA理事会に参加した。
- ・年次報告書（WWEA Annual Report）や四季報（WWEA Quarterly Bulletin）に日本情報を提供した。

16. GWEC（世界風力会議）

- ・GWEC Japan委員会を日本風力発電協会（JWPA）と共同で運営して、研究活動と普及啓発活動に協力した。
- ・GWEC協賛のEWEA2012、CWP2012、EWEA2013、WEA2013に参加して、その内の2回で日本紹介発表を実施した。
- ・年次総会（コペンハーゲン、4/15）、プレス発表会（コペンハーゲン、4/17）、理事会（同左と北京 11/14の2回）、および振興市場 Workshop（ウィーン、2/6）、などのGWEC行事に参加して積極的に交流した。
- ・年次統計（Global Wind Statistics）、年次報告書（Global Wind Report annual market update）、メルマガ（GWEC News Letter）などに日本情報を提供した。
- ・GWECとEWEAが主催するウインドデイ行事（Global Wind Day）では、4人のアンバサダーの選出と11件の国内イベントを行い、啓蒙活動に協力した。

17. 会員の動向

3月末日現在の会員数は、団体会員71団体（71口）（前年度末67団体） 個人会員466名（内 学生会員45名、特別会員2名、名誉会員2名）（前年度末438（内学生45、特別3、名誉2））

18. 学会表彰制度の実施

- ・総会にて 功労賞2件（丹省一氏、山本克彦氏）、奨励賞5件授与
- ・風力エネルギー利用シンポジウムにて 論文賞1件（原豊氏）、論文ポスター賞7件授与
- ・流れの不思議展にて 日本風力エネルギー学会賞2件授与
- ・風力発電コンペ WINCOM2012にて 日本風力エネルギー学会賞1件授与

19 風力発電の出前授業活動

- ・日本の将来を担う小学生～高校生に風力発電に親しんでもらうために、出前授業の活動強化の企画を開始した。
- ・組織的かつ効率的に授業を行うために、受入窓口（ニーズの調査）と、提供側（講師と教材）のアンケート調査を実施した。

日本風力エネルギー協会/学会 2011年度(平成23年度) 事業報告

(自：2011年4月1日 至：2012年3月31日)

(特記事項)

1. 法人化と名称変更

5月の総会での審議・承認を経て、6月20日付で一般社団法人 日本風力エネルギー学会を設立登記し、法人化と学会への名称変更を実現しました。

2. 海外文献の翻訳と講習会の開催

東日本大震災を契機として、我が国においても風力発電を始めとする再生可能エネルギー導入拡大への期待が高まり、今年7月1日からの固定価格買取制度を導入するための法律も制定されました。当学会も、これらの動きを背景として、洋上風力及び系統連系をテーマとする欧州の最新文献を翻訳・出版し、前者については講習会も開催し好評を博しました。法人化後の学会として、順調な滑り出しが出来たと考えています。

・「洋上風力発電」= Offshore Wind Power, Multi-Science Publishing 2010：鹿島出版会

・「風力発電の系統連系」= Powering Europe：Wind Energy and the Electricity Grid：当学会でウェブ出版

(今後の課題)

上記の通り、最近では日本においても再生可能エネルギーへの期待が益々高まっています。一方で、風力発電については導入が進むにつれて逆に、景観・騒音あるいは低周波といった問題について、誤解を含めた様々な見解が表明されており、風力発電に関する社会的受容性が大きな課題として浮上して来ています。当学会としては、かような課題についても技術的な側面から取り組み、講習会等の場で分かり易く本質を説明したり、研究会を開催したりすることも検討し、我が国における風力エネルギーの健全な普及促進に貢献することを目指して参ります。

(概略報告/総括)

以下の通り、主たる活動に関し、概略を報告いたします。

1. 総会の開催

- ・5月12日：旧協会の総会を開催。2010年度の決算、法人化と学会への名称変更等を承認。
- ・7月19日：一般社団法人日本風力エネルギー学会の臨時総会(設立総会)を開催。役員人事、事業計画及び収支計画等を承認。

2. 評議委員会の開催(旧協会)

5月12日の総会前に開催。総会の議案内容につき報告し、意見交換を実施。

3. 理事会の開催

- ・旧協会：4月12日、5月12日に開催、各種議案を討議。
- ・新学会：6月21日、7月19日、9月16日、11月11日、1月13日及び3月15日に開催、各種議案を討議。尚、7月6日には電子理事会を開催した。

4. 各委員会等の開催/活動

- ・企画委員会：企画委員会では11月29、30日の風力エネルギー利用シンポジウムの招待講演者、風サミット代替のシンポジウム開催、一般講演のプログラム作成、風力発電施設見学会サイトの決定開催、日本太陽エネルギー学会との共催行事(研究発表会、見学会、新エネルギー世界展示会)、科学の祭典出展、GWEC ウィンドディ出張についてメール等で協議を行い対応した。
- ・編集委員会：ほぼ上記理事会のスケジュールに合わせて開催、協会誌/学会誌の編集方針等について検討した。
- ・事業委員会：上記特記事項にて報告した通り、海外文献を翻訳・出版するとともに、講習会を開催した。また、法人化・学会化を記念して扇子を制作し、(株)ミュージアムクルー(科学技術館)にて委託販売した。
- ・国際委員会：ほぼ毎月国際委員会及びGWEC日本運営委員会をJWPA国際部会と合同で開催した。主として、東日本大震災の日本の風力発電所への影響並びにその後の日本政府の政策動向等につき、積極的に海外への情報発信に務めた。GWECとWWEAの両事務局長と交流会を開催し、国内10か所でウインドデイ行事を開催した。
- ・表彰啓発委員会：表彰規定を見直し整備した。また、功労賞、論文賞を授与し、新たに奨励賞を決定した。
- ・論文委員会：継続して論文審査を行い、23年度は投稿論文16件を審査した(内8件掲載、8件審査中)。なお、23年度は前年からの持ち越しを含め12件の論文を会誌に掲載。またシンポジウムにおいて座長から推薦された発表論文について会誌への投稿を依頼したほか奨励賞候補を表彰啓発委員会へ推薦した。22年度に会誌に掲載された論文の中から論文賞候補論文について審議し表彰啓発委員会へ推薦した。
- ・選挙管理委員会：24年/25年の役員選挙を管理し遂行した。

5. 協会誌/学会誌の発行

第35巻 第1号(通巻97号)	2011年	5月発行	1000部
" 第2号(通巻98号)	2011年	8月発行	1000部(学会誌に変更)
" 第3号(通巻99号)	2011年	11月発行	1000部(学会誌内を会誌と論文集に分割)
" 第4号(通巻100号)	2012年	2月発行	1000部

6. 風力エネルギー利用シンポジウムの開催(第33回)

共催：日本科学技術振興財団

協賛：日本風力発電協会、日本小形風力発電協会、風力発電推進市町村全国協議会

後援：外務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省、新エネルギー・産業技術総合開発機構、産業技術総合研究所、新エネルギー財団、日本電機工業会、ターボ機械協会、日本太陽エネルギー学会、日本風工学会

11月29日(火)～30日(水) 科学技術館/東京 (参加者300名)

7. 第6回再生可能エネルギー世界展示会の開催への協力

幕張メッセ(12月5日～7日)において開催、フォーラムの開催するとともに、学会として初めてのPRブースを出展(日本太陽エネルギー学会と合同にて)により協力した

8. 風力関連学会の国内および国際会議への協会/学会役員等の参加協力等

- 1) RenewableUKの日本洋上風力取材会, London, UK, 2011/05/10-11
- 2) WWEAとの交流会、東京、2011/9/14
- 3) GWECとの交流会、東京、2011/9/15
- 4) GWEC理事会、北京、中国、2011/10/18、China Wind Power2011, 2011/10/19-21
- 5) EWEA Offshore 2011, Amsterdam, Netherland, 2011/11/29-12/01
- 6) RE2011(風力デー)幕張、2011/12/5
- 7) North Africa & Middle East RE Seminar, 東京、2012/2/27
- 8) GWECとの交流会、東京、2012/3/8
- 9) WWEAとの交流会、東京、2012/3/9

9. 見学会の実施

・世界ウインドデイの一環としての見学会等を、6月2日(木)足利工大、11日(土)横浜、13日(月)・14日(火)秋田市市出前授業、18日(土)秋田県八竜市、19日(日)は苫前町・寿都町・銚子氏・掛川市・北九州市、26日(日)平戸市、の10件開催。開催結果はGWEC/EWEAに報告。

・日本太陽エネルギー学会との合同研究発表会(共催)の稚内(風力・メガソーラ)見学会 9月20日(火)
・御前崎・掛川・磐田の大型風力発電施設見学会 8月25日(木)

10. 日本太陽エネルギー学会と共催の合同研究発表会 9月21-22日 稚内

1.1. 風力利用事業に関する助言等普及啓発活動

・青少年のための科学の祭典(科学技術館)に出展 7月30日から3日間 千代田区/東京
・風力発電推進市町村全国協議会 総会6月29日 他

1.2. 国内の風力関連事業/催しへの協力

- ・再生可能エネルギー2011世界展示会 12月5日～7日 幕張メッセ
展示会へ出展、セミナー等への協力(再生可能エネルギー協議会:協賛)
- ・風力発電コンペ WINCOM2011 10月30日(日本大学生産工学部:後援)
- ・第12回風力エネルギー利用総合セミナー 6月2日～3日(足利工業大学総合研究所:後援)
- ・第20回日本エネルギー学会大会 8月9日～10日(日本エネルギー学会:協賛)
- ・第17回流れのふしぎ展 8月13日～14日(日本機械学会:協賛)
- ・日本地熱学会平成23年学術講演会 11月9日～11日(日本地熱学会:協賛)
- ・第33回Japan Home & Building Show2011 9月28日～30日(日本能率協会:協賛)
- ・クリーン発電&スマートグリッドフェア 10月12日～14日(同実行委員会:協賛)
- ・風工学シンポジウム 12月5日～7日(日本風工学会他:協賛)
- ・洋上風力発電ワークショップ 10月25日(日本海事協会:共催)
- ・第8回自然エネルギー利用総合セミナー 11月24日～25日(足利工業大学:協賛)
- ・フラッターの制御と利用に関する第1回シンポジウム 9月15日～16日(フラッター研究会:協賛)
- ・風災害フォーラム 12月5日(風工学会:後援)
- ・全量買い取り制度による日本の再生可能エネルギーの新展開 3月6日(日本自然エネルギー学会:協賛)
- ・第2回OETR(海洋エネルギー東北再生)シンポジウム 3月27日(東京大学:後援)

1.3. EWEA(欧州風力エネルギー協会)日本支部として

研究活動、啓発活動に協力

1.4. WWEA(世界風力エネルギー協会)日本支部として

研究活動、啓発活動に協力、Annual Reportに情報を提供

1.5. GWEC(世界風力会議)日本支部(JWEA、JWPA事務局)として

理事会への参加、研究活動、啓発活動に協力、Annual Reportに情報を提供

1.6. 会員の動向

3月末日現在の会員数は、団体会員67団体(67口)(前年度末70団体) 個人会員438名(内学生会員45名、特別会員3名、名誉会員2名)(前年度末441(内学生47、特別3、名誉2))

1.7. 協会/学会表彰制度の実施

- ・総会にて 功労賞3名(高田吉治氏、槌屋治紀氏、永尾徹氏)
- ・風力エネルギー利用シンポジウムにて 論文賞2件、論文ポスター賞7件授与
- ・流れの不思議展にて 日本風力エネルギー学会賞2件授与
- ・風力発電コンペ WINCOM2011にて 日本風力エネルギー学会賞1件授与

2010年度(平成22年度)事業報告

自:2010年4月 1日

至:2011年3月31日

1. 総会の開催

5月8日に総会を開催し、平成21年度事業報告、同収支決算報告及び第31回風力エネルギー利用シンポジウム決算報告、平成22年度事業計画、同収支予算計画の各議案を審議し承認した。

2. 評議員会の開催

5月8日に総会に先立ち評議員会を開催し、平成21年度事業報告、同収支決算報告及び第31回風力エネルギー利用シンポジウム決算報告、平成22年度事業計画、同収支予算計画の各議案を報告し、また意見交換をした。

3. 理事会の開催

4月14日、5月8日、6月8日、8月6日、10月8日、12月6日、2月7日に理事会を開催し、各種議案を討議した。

4. 委員会等の開催

・企画委員会では随時イベントに対して協議を行い対応した。

・編集委員会では6月8日、8月6日、10月8日、12月6日、2月7日に編集委員会を開催し協会誌の編集方針等について検討した。

・事業委員会では海外文献の翻訳事業を行い、鹿島出版を通して出版することとした。

・国際委員会では5月21日、7月9日、8月3日、9月10日、10月4日、11月8日、12月13日、1月17日、2月2日、3月9日に国際委員会ならびにGWECジャパン運営委員会を開催し国際関連について討議した。(別紙にて詳細説明)

・表彰啓発委員会では表彰規定について、協議検討し策定した。

・論文委員会では継続して論文審査を行い、22年度は投稿論文12件を審査した(内7件掲載、4件審査中、1件辞退)。なお、22年度は前年からの持ち越しを含め12件の論文が協会誌に掲載された。またシンポジウムにおいて座長から推薦された発表論文について協会誌への投稿を依頼した。21年度に協会誌に掲載された論文の中から論文賞候補論文について審議し表彰啓発委員会へ推薦した。

・法人化検討タスクフォースにて法人化について検討した。

5. 協会誌の発行

第34巻第1号(通巻93号)2010年5月発行1000部

” 第2号(通巻94号)2010年8月発行1000部

” 第3号(通巻95号)2010年11月発行1000部

” 第4号(通巻96号)2011年2月発行1000部

6. 風力エネルギー利用シンポジウムの開催(第32回)

共催:(財)日本科学技術振興財団

協賛:(社)日本風力発電協会、日本小形風力発電協会
後援:外務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(独)産業技術総合研究所、(財)新エネルギー財団、(社)日本電機工業会、ターボ機械協会、(社)日本太陽エネルギー学会、風力発電推進市町村全国協議会、(社)日本風工学会

11月24日(水)~25日(木) 科学技術館/東京(参加者300名)

7. 再生可能エネルギー2010国際会議の開催

パシフィコ横浜(6月27日~7月2日)において開催、同時開催の再生可能エネルギー世界フェア(国際展示会)2010に協会のPRブースを出展(日本太陽エネルギー学会と合同にて)

8. 風力関連学会の国内および国際会議への協会役員等の参加協力等

1) EWEC2010, Warsaw, Poland, 20-23 Apr 2010

2) Windpower 2010 Conference and Exhibition (AWEA), Dallas, USA, 16-19 May 2010

3) 9th World Wind Energy Conference & Exhibition (WWEC), Istanbul, Turkey, 15-17 June 2010

4) GWEC 理事会, Warsaw, Poland, 19 Apr 2010 (EWEC開催の前日)

5) EWEC2011, Brussels, Belgium, 14-17 Mar 2011

9. 見学会の実施

・世界ウインドデイの一環としての見学会

6月9日(水)足利工大 13日(日)横浜市、掛川市、苫前町、秋田市、寿都町 15日(火)銚子市

・日本太陽エネルギー学会との合同研究発表会(共催)の見学会

11月3日(水)郡山布引高原風力発電所、安積疎水、猪苗代湖

10. 日本太陽エネルギー学会と共催の合同研究発表会

11月4,5日 日本大学工学部(福島県郡山市)

11. 風力利用事業に関する助言等普及啓発活動

・風力発電推進市町村全国協議会 第15回全国風ミット in ろっかしょ(青森県六ヶ所村9月29日~10月1日)

・青少年のための科学の祭典(科学技術館)に出展 7月30~8月1日の3日間 千代田区/東京

12. 国内の風力関連事業への支援

・再生可能エネルギー2010国際会議 22年6月27日~7月2日 パシフィコ横浜(再生可能エネルギー協議会:協賛) 展示会へ出展、セミナー等への協力

・風力発電コンペ WINCOM2010 10月31日(日本大学生産工学部:後援)

- ・第11回風力エネルギー利用総合セミナー 6月9日～10日(足利工業大学総合研究センター:後援)
- ・第19回日本エネルギー学会大会 8月2日～3日(日本エネルギー学会:協賛)
- ・第16回流れのふしぎ展 8月14日～15日(日本機械学会:協賛)
- ・日本地熱学会平成22年学術講演会 11月24日～26日(日本地熱学会:協賛)
- ・第32回Japan Home & Building Show2009 11月17日～19日(日本能率協会:協賛)
- ・全国風サミット in ろっかしょ 9月29日～10月1日(風力発電推進市町村全国協議会:共催)
- ・クリーン発電&スマートグリッドフェア 7月14日～16日(同実行委員会:協賛)
- ・風工学シンポジウム 12月1日～3日(日本風工学会他:協賛)
- ・風力発電設備支持構造設計指針・同解説講習会 1月11日(土木学会:協賛)
- ・洋上風力発電ワークショップ 2月28日(日本海事協会:協賛)
- ・第7回自然エネルギー利用総合セミナー 3月16日(足利工業大学:協賛)

13. EWEA(欧州風力エネルギー協会)日本支部として研究活動、啓発活動に協力

14. WWEA(世界風力エネルギー協会)日本支部として研究活動、啓発活動に協力

15. GWEC(世界風力会議)日本支部(JWEA、JWPA事務局)として研究活動、啓発活動に協力

16. 会員の動向

入会: 団体会員 5団体 個人会員 38名
 退会: 団体会員 9団体 個人会員 62名
 なお、3月末日現在の会員数は、団体会員70団体(70口) 個人会員441名(内 学生会員47名)

17. 協会表彰制度の実施

・シンポジウムにて論文ポスター賞7件授与

・流れの不思議展にて2件授与 日本風力エネルギー協会賞

・風力発電コンペWINCOM2010にて1件授与 日本風力エネルギー協会賞

2009年度（平成21年度）事業報告

自：2009年4月 1日 至：2010年3月31日

1. 総会の開催

5月9日に総会を開催し、平成20年度事業報告、同収支決算報告及び第30回風力エネルギー利用シンポジウム決算報告、平成21年度事業計画、同収支予算計画の各議案を審議し承認した。

2. 評議員会の開催

5月9日に総会に先立ち評議員会を開催し、平成20年度事業報告、同収支決算報告及び第30回風力エネルギー利用シンポジウム決算報告、平成21年度事業計画、同収支予算計画の各議案を報告し、また意見交換をした。

3. 理事会の開催

4月15日、5月9日、7月2日、9月1日、11月10日、12月15日、2月15日、3月29日に理事会を開催し、各種議案を討議した。

4. 委員会の開催

・4月15日、7月2日、9月1日、11月10日、12月15日、3月29日に編集委員会を開催し協会誌の編集方針等について検討した。

・5月9日に事業委員会を開催し、技術講習会や法人化について検討した。

・5月12日、7月2日、8月25日、10月19日、12月11日、2月12日に国際委員会ならびにGWECジャパン運営委員会を開催し国際関連について討議した。

・論文委員会では継続して論文審査を行い、21年度は投稿論文10件を審査した（内4件掲載、5件審査中、1件辞退）。なお、21年度は前年からの持ち越しを含め12件の論文が協会誌に掲載された。

5. 協会誌の発行

第33巻第1号（通巻89号）2009年5月発行 1000部
〃 第2号（通巻90号）2009年8月発行 1000部
〃 第3号（通巻91号）2009年11月発行 1000部
〃 第4号（通巻92号）2010年2月発行 1000部

6. 風力エネルギー利用シンポジウムの開催（第31回）

共催：（財）日本科学技術振興財団

協賛：（中）日本風力発電協会、風力発電事業者懇話会、日本小形風力発電協会

後援：文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省、
（独）新エネルギー・産業技術総合開発機構、（独）産業技術総合研究所、（財）新エネルギー財団、（社）日本電機工業会、ターボ機械協会、日本太陽エネルギー学会、風力発電推進市町村全国協議会、エネルギー変換懇話会、日本風工学会

11月26日（木）～27日（金） 科学技術館／東京（参加者303名）

7. 風力発電の低周波／騒音セミナーの開催

科学技術館において5月9日14:30-17:00（総会の後）に開催（参加者150余名）

8. 風力発電システム技術講習会の開催

科学技術館において10月16日、30日、11月13日、14日の4回にわたり開催（延べ参加者61名）

9. 風力発電フォーラムの開催

第4回新エネルギー世界展示会兼国際フォーラム 幕張メッセ（6月24日～26日）において6月25日に開催、協会のPRブースを出展（日本太陽エネルギー学会と合同にて）

10. 風力関連学会の国内および国際会議への協会役員等の参加協力等

1) Windpower 2009 Conference and Exhibition (AWEA), Chicago, USA, 4-7 May 2009

2) 8th World Wind Energy Conference 2009 (WVEC), Jeju Island, Korea, 23-25 June 2009

3) China WindPower (supported by GWEC), Beijing, China, 21-23 October 2009

11. 見学会の実施

・風力発電親子見学会（横浜市、三菱重工業（株））の開催 6月14日（世界ウインドデイの一環として 主催：GWEC、JWEA、JWPA、横浜市）

・銚子・神栖見学会の開催 8月28日（参加者80名）

・長崎三菱重工他の見学 11月4日（日本太陽エネルギー学会と共催の合同研究発表会に際して）

12. 日本太陽エネルギー学会と共催の合同研究発表会

長崎ブリックホール／長崎市 11月5日、6日

13. 風力利用事業に関する助言等普及啓発活動

・風力発電推進市町村全国協議会 第14回全国風サミット in ほくえい（鳥取県北栄町 7月9日～10日）

・青少年のための科学の祭典（科学技術館）に出展 7月31～8月2日の3日間 千代田区／東京

・風力エネルギー連絡協議会（代表 荒川忠一 JWEA 勝呂、長井、JWPA、風力発電事業者懇話会、風力発電推進市町村全国協議会、小型風力・太陽光発電普及協会、自然エネルギー研究会、日本電機工業会、新エネルギー財団）

14. 国内の風力関連事業への支援

・第9回風力エネルギー利用総合セミナー 6月19日～20日（足利工業大学総合研究センター：後援）

・第4回新エネルギー世界展示会兼国際フォーラム 幕張メッセ 6月24日～26日（再生可能エネルギー協議会：協賛）展示会へ出展、セミナー等への協力

・第18回日本エネルギー学会大会 7月30日～31日

(日本エネルギー学会：協賛)

- ・第15回流れのふしぎ展 8月11日～12日(日本機械学会：協賛)
- ・風力発電コンペ WINCOM2009 9月6日(日本大学生産工学部：後援)
- ・全国風シンポジウム in あさひ(富山県朝日町) 9月23日～24日(風力発電推進市町村全国協議会：共催)
- ・第10回風力エネルギー利用総合セミナー 10月16日～17日(足利工業大学総合研究センター：後援)
- ・IEC風力発電専門プロジェクト外部会(PT26)セミナー 10月27日(日本風力発電協会：後援)
- ・第31回Japan Home & Building Show 11月11日～13日(日本能率協会：協賛)
- ・日本地熱学会平成21年学術講演会 11月30日～12月2日(日本地熱学会：協賛)

15. EWEA(欧州風力エネルギー協会)日本支部として研究活動、啓発活動に協力(会員数 30名 3

月末日現在)

16. WWEA(世界風力エネルギー協会)日本支部として研究活動、啓発活動に協力(会員数 22名 3月末日現在)

17. GWEC(世界風力会議)日本支部(JWEA、JWPA事務局)として研究活動、啓発活動に協力

18. 会員の動向

入会： 団体会員 3団体 個人会員 49名

退会： 団体会員 7団体 個人会員 36名

なお、3月末日現在の会員数は、団体会員74団体(76口) 個人会員463名(内 学生会員52名)

19. 協会表彰制度の実施

- ・シンポジウムにて論文ポスター賞7件授与
日本風力エネルギー協会

2008年度（平成20年度）事業報告

自：2008年4月 1日 至：2009年3月31日

1. 総会の開催

5月10日に総会を開催し、平成19年度事業報告、同収支決算報告及び第29回風力エネルギー利用シンポジウム決算報告、平成20年度事業計画、同収支予算計画の各議案を審議し承認した。

2. 評議員会の開催

11月27日に評議員会を開催し、委員会報告と意見交換をした。

3. 理事会の開催

4月25日、5月10日、7月15日、9月18日、11月10日、12月15日、2月20日に理事会を開催し、各種議案を討議した。

4. 委員会の開催

- ・5月10日、7月15日、9月18日、11月10日、12月15日、2月20日に編集委員会を開催し協会誌の編集方針等について検討した。
- ・3月19日に企画委員会を開催しホームページの改定について検討した。
- ・4月18日に事業委員会を開催し、技術講習会や法人化について検討した。
- ・7月7日、9月18日、12月9日、2月16日、3月25日国際委員会ならびに GWEC ジャパン運営委員会を開催し国際関連について討議した。
- ・4月25日に論文委員会を開催し、今後の進め方について討議した。20年度は投稿論文14件を審査し、5件が協会誌に掲載された。(3件は掲載待ち、5件は審査中、1件は辞退)

5. 協会誌の発行

- 第32巻1号(通巻85号)2008年5月発行1000部
- 〃 2号(通巻86号)2008年8月発行1000部
- 〃 3号(通巻87号)2008年11月発行1000部
- 〃 4号(通巻88号)2009年2月発行1000部

6. 風力エネルギー利用シンポジウムの開催(第30回)

共催:(財)日本科学技術振興財団

協賛:(中)日本風力発電協会、風力発電事業者懇話会、小型風力・太陽光発電普及協会

後援:文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(独)産業技術総合研究所、(財)新エネルギー財団、(社)日本電機工業会、ターボ機械協会、日本太陽エネルギー学会、風力発電

推進市町村全国協議会、エネルギー変換懇話会、日本風工学会

11月27日(木)～28日(金) 科学技術館/東京 (参加者318名)

7. 風力発電フォーラムの開催

第3回新エネルギー世界展示会兼国際フォーラム 東京ビックサイト(7月30日～8月1日)において8月1日に開催、協会のPRブースを出展(日本太陽エネルギー学会と合同にて)

8. 風力関連学会の国内および国際会議への協会役員等の参加協力等

- 1) European Wind Energy Conference & Exhibition (EWEC), Brussels Expo, Belgium, 31 March - 3 April 2008
- 2) 7th World Wind Energy Conference 2008 (WWEC), Kingston, Canada, 24-26 June 2008
- 3) Global WindPower 2008, China WindPower (supported by GWEC), Beijing, China, 29-31 October 2008
- 4) European Wind Energy Conference & Exhibition (EWEC), Marseille, France, 16 - 19 March 2009

9. 見学会の実施

- ・風力発電親子見学会(横浜市、三菱重工業(株))の開催 6月15日
(世界ウインドデイの一環として 主催:GWEC、GIAC、横浜市)
- ・鳥取北栄町風力発電所の見学 11月5日
(日本太陽エネルギー学会と共催の合同研究発表会に際して)

10. 日本太陽エネルギー学会と共催の合同研究発表会

とりぎん文化会館/鳥取市 11月6日、7日

11. 風力利用事業に関する助言等普及啓発活動

- ・風力発電推進市町村全国協議会 全国風シンポジウム in あさひ(富山県朝日町 9月23日～24日)
- ・青少年のための科学の祭典(科学技術館)に出展 7月25-27の3日間 千代田区/東京
- ・風力エネルギー連絡協議会(代表 荒川忠一 JWEA 勝呂、長井、JWPA、風力発電事業者懇話会、風力発電推進市町村全国協議会、小型風力・太陽光発電普及協会、自然エネルギー研究会、日本電機工業会、新エネルギー財団)

12. 国内の風力関連事業への支援

- ・第8回風力エネルギー利用総合セミナー 6月20日～21日(足利工業大学総合研究センター:後援)
- ・第3回新エネルギー世界展示会兼国際フォーラム 東京ビックサイト 7月30日～8月1日(再生可能エネルギー協議会:協賛) 展示会へ出展、セミナー等への協力
- ・第17回日本エネルギー学会大会 8月4日～5日(日本エネルギー学会:協賛)
- ・第14回流れのふしぎ展 8月16日～17日(日本機械学会:協賛)
- ・全国風シンポジウム in あさひ(富山県朝日町) 9月23日～24日(風力発電推進市町村全国協議会:共催)
- ・第6回 Osaka Home expo2008 10月24日～26日(日本能率協会:協賛)
- ・日本地熱学会平成20年学術講演会 10月30日～11月1日(日本地熱学会:協賛)
- ・風力発電コンペ WINCOM2008 11月2日(日本大学生産工学部:後援)
- ・第10回 Japan Home & Building Show2008 11月12日～14日(日本能率協会:協賛)
- ・第108回講習会「クリーンエネルギー・・・持続可能な次世代エネルギーの開発」 1月28日(日本機械学会:協賛)

- ・第2回エネルギー変換懇話会シンポジウム「バイオマス燃料」 3月4日(エネルギー変換懇話会:協賛)

13. EWEA(欧州風力エネルギー協会)日本支部として研究活動、啓発活動に協力

(会員数 31名 3月末日現在)

14. WWEA(世界風力エネルギー協会)日本支部として研究活動、啓発活動に協力

(会員数 22名 3月末日現在)

15. GWEC(世界風力会議)日本支部(JWEA、JWPA 事務局)として研究活動、啓発活動に協力

16. 会員の動向

入会: 団体会員 7団体 個人会員 30名

退会: 団体会員 8団体 個人会員 46名

なお、3月末日現在の会員数は、団体会員78団体(84口)

個人会員450名(内 学生会員48名)

17. 協会表彰制度の実施

- ・シンポジウムにて論文ポスター賞7件授与
日本風力エネルギー協会

2007年度(平成19年度)事業報告

自:2007年4月1日 至:2008年3月31日

1. 総会の開催

5月12日に総会を開催し、平成18年度事業報告、同収支決算報告及び第28回風力エネルギー利用シンポジウム決算報告、平成19年度事業計画、同収支予算計画の各議案を審議し承認した。

2. 理事会の開催

4月20日、5月12日、7月26日、9月14日、10月26日、12月10日、1月18日、2月27日、3月21日に理事会を開催し、各種議案を討議した。

3. 委員会の開催

- ・5月12日、6月21日、8月22日、9月14日、10月26日、12月14日、2月27日に編集委員会を開催し協会誌の編集方針等について検討した。
- ・6月21日に企画委員会を開催し国際シンポジウム等について検討した。
- ・4月18日に事業委員会を開催し、技術講習会や法人化について検討した。
- ・3月14日に選挙管理委員会を開催し、評議員選挙の開票をした。
- ・4月26日、5月31日、6月26日、7月24日、9月14日、10月13日、12月7日、1月25日、3月3日に国際委員会がGWEC-Japanを開催し、国際関連について討議した。
- ・論文委員会では投稿論文16件を審査し、5件が協会誌に掲載された。(8件は審査中)

4. 協会誌の発行

31巻1号(通巻81号)2007年5月発行1000部
31巻2号(通巻82号)2007年8月発行1000部
31巻3号(通巻83号)2007年11月発行2000部
83号は30周年記念として発行
31巻4号(通巻84号)2008年2月発行1000部

5. 風力エネルギー利用シンポジウムの開催(第29回30周年記念)

共催:(財)日本科学技術振興財団
協賛:(中)日本風力発電協会、風力発電事業者懇話会、小型風力・太陽光発電普及協会

後援:文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(独)産業技術総合研究所、(財)新エネルギー財団、(社)日本電機工業会、ターボ機械協会、日本太陽エネルギー学会、風力発電推進市町村全国協議会、エネルギー変換懇話会、日本風工学会
11月28日(水)~29日(木)
科学技術館/東京(参加者344名)

6. JWEA30周年記念風力発電国際シンポジウムの開催

第2回新エネルギー世界展示会兼国際フォーラム 幕張メッセ/千葉(10月10日~12日)において10月11日に開催
(NEDOの補助事業「新エネルギー・省エネルギー非営利活動促進事業」対象として)

7. 風力発電システム技術講習会開催

平成19年6月29日、7月20日、8月24日、9月21日の4回に分けて(科学技術館)

8. 風力関連学会の国内および国際会議への協会役員等の参加協力等

- ・European Wind Energy Conference & Exhibition MIC - Milano Convention Centre, Milan, Italy, 7-10 May 2007
- ・World Wind Energy Conference and Exhibition "WWEC 2007" Mar del Plata, Argentina, 2-4 October 2007
- ・The WindPower Shanghai 2007 conference and exhibition (supported by GWEC) Shanghai, China, 1-3 November 2007

9. 見学会の実施

- ・郡山布引高原風力発電施設見学・説明会 6月2日
- ・PVモジュール製造工場ならびに住宅用断熱パネル製造工場見学会 10月24日
(日本太陽エネルギー学会と共催の合同研究発表会に際して)

10. 日本太陽エネルギー学会と共催の合同研究発表会

札幌コンベンションセンター10月25、26日

1.1. 風力利用事業に関する助言等普及啓発活動

- ・風力発電推進市町村全国協議会 全国風サミット (高知県梶原 10月4日~5日)
- ・青少年のための科学の祭典(科学技術館)に出展 7月27-28の2日間 千代田区/東京
- ・風力エネルギー連絡協議会(代表 荒川忠一 JWEA勝呂、長井、JWPA、風力発電事業者懇話会、風力発電推進市町村全国協議会、小型風力・太陽光発電普及協会、自然エネルギー研究会、日本電機工業会、新エネルギー財団)

1.2. 国内の風力関連事業への支援

- ・第2回新エネルギー世界展示会兼国際フォーラム 幕張メッセ/千葉 10月10~12日 シンポジウム、研究会、展示会等への協力 小学生書画展開催 日本太陽エネルギー学会と共催
- ・第7回風力エネルギー利用総合セミナー 6月22日~23日(足利工業大学総合研究センター:後援)
- ・第16回日本エネルギー学会大会 8月2日~3日(日本エネルギー学会:協賛)
- ・第13回流れのふしぎ展 8月11日~12日(日本機械学会:協賛)
- ・日本地熱学会平成19年学術講演会 11月19日~23日(日本地熱学会:協賛)
- ・第9回Japan Home & Building Show2007 11月14日~16日(日本能率協会:協賛)
- ・第5回Osaka Home expo2007 10月25日~27日(日本能率協会:協賛)
- ・第13回全国風サミット 10月4日~5日(風力発電推進市町村全国協議会:共催)

・風力発電支持物構造指針・同解説講習会 11月30日(土木学会:協賛)

・市民共同発電所全国フォーラム2007inおおさか 9月22日~23日(市民共同発電所全国フォーラム2007実行委員会:後援)

・欧州洋上風力発電施設視察団 9月16日~23日(霞ヶ関トラベル:協賛)

1.3. EWEA(欧州風力エネルギー協会)

日本支部として研究活動、啓発活動に協力(会員数 35名 3月末日現在)

1.4. WWEA(世界風力エネルギー協会)

日本支部として研究活動、啓発活動に協力(会員数 25名 3月末日現在)

1.5. GWEC(世界風力会議)

日本支部(JWEA、JWPA事務局)として研究活動、啓発活動に協力

1.6. 会員の動向

入会:団体会員5団体 個人会員54名

退会:団体会員12団体 個人会員52名

なお、3月末日現在の会員数は、団体会員79団体(85口)個人会員466名(内 学生会員44名)

1.7. 協会表彰制度の実施

・シンポジウムにて功労賞12名(下記)授与 石田博氏、大石強氏、大森豊明氏、岡澤公夫氏、

河野順一氏、玉造貞一氏、土屋敬一氏、西道弘氏、紅谷淑子氏、松本文雄氏、宮崎肇氏、與那嶺武氏、

・シンポジウムにて論文ポスター賞7件授与
・太陽エネルギー学会との合同研究発表会(第2回新エネルギー世界展示会)での小学生書画展において表彰

2006年度(平成18年度)事業報告

自:2006年4月1日 至:2007年3月31日

1. 総会の開催

5月13日に総会を開催し、平成17年度事業報告、同収支決算報告及び第27回風力エネルギー利用シンポジウム決算報告、平成18年度事業計画、同収支予算計画、規約の改正の各議案を審議し承認した。

8月5日に臨時総会を開催し、新規約に則っての評議員選出、評議員の投票により選出された理事と監事、理事の投票により選出された会長、会長により選出された副会長について報告し、承認した。

2. 理事会の開催

4月17日、5月13日、7月10日、8月5日、9月29日、11月22日、1月26日、3月23日に理事会を開催し、各種議案を検討した。

3. 委員会の開催

6月19日、9月8日、11月30日、1月26日、3月23日に編集委員会を開催し協会誌の編集方針等について検討した。9月8日に企画委員会を開催しシンポジウム等について検討し、また同日企画・事業合同委員会を開催しシンポジウム、法人化、30周年記念行事等について検討した。12月22日に事業委員会を開催し、技術講習会や法人化について検討した。

4. 協会誌の発行

第30巻第1号(通巻77号)2006年6月発行 950部
" 第2号(通巻78号) " 9月発行 950部
" 第3号(通巻79号)2007年1月発行 950部
" 第4号(通巻80号) " 3月発行 1000部

5. 風力エネルギー利用シンポジウムの開催(第28回)

共催:(財)日本科学技術振興財団

協賛:(中)日本風力発電協会、風力発電事業者懇話会、小型風力・太陽光発電普及協会

後援:文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(独)産業技術総合研究所、(財)新エネルギー財団、(社)日本電機工業会、ターボ機械協会、日本太陽エネルギー学

会、風力発電推進市町村全国協議会、エネルギー変換懇話会、日本風工学会

11月21日(火)~22日(水) 科学技術館/東京
(参加者364名)

6. 風力関連学会の国内および国際会議への協会役員等の参加協力等

・Wind energy 2006 - International Trade Fair

5月16-19日 ハンブルグ・ドイツ

・Global Windpower 2006 conference

9月25日 アデレード・オーストラリア

・World Wind Energy Conference & Renewable energy Exhibition 11月6-8日 ニューデリ・インド

・再生可能エネルギー2006 国際会議

10月9-13日 幕張メッセ・千葉

・風力発電施設と自然環境保全に関する研究会(環境省、資源エネルギー庁) 3月30日 東京

7. 見学会の実施

・大規模太陽光発電コミュニティ「パルタウン」一日ツアー
- 10月14日

・JHFC 燃料電池自動車博物館 MHI みなとみらい館
2.4MW 風車ツアー 10月14日

(再生可能エネルギー2006の開催に併せて)

8. 日本太陽エネルギー学会と共催の合同研究発表会

幕張メッセ 10月12日、13日

(再生可能エネルギー2006の開催に併せて)

9. 風力利用事業に関する助言等普及啓発活動

・風力発電推進市町村全国協議会(風サミットに代わるシンポジウム)

・風力エネルギー連絡協議会(代表 荒川忠一 JWEA 勝呂、長井、JWPA、風力発電事業者懇話会、風力発電推進市町村全国協議会、小型風力・太陽光発電普及協会、自然エネルギー研究会、日本電機工業会、新エネルギー財団)

10. 国内の風力関連事業への支援

・再生可能エネルギー2006 国際会議

幕張メッセ/千葉 10月9日~13日
(RE2006 国際組織委員会:共催)

シンポジウム、研究会、展示会等への協力

- ・第6回風力エネルギー利用総合セミナー 6月23日~24日 (足利工業大学総合研究センター:後援)
- ・第15回日本エネルギー学会大会 8月3日~4日 (日本エネルギー学会:協賛)
- ・第12回流れのふしぎ展 8月5日~6日 (日本機械学会:協賛)
- ・日本地熱学会平成18年学術講演会 11月19日~23日 (日本地熱学会:協賛)
- ・第28回 Japan Home & Building Show2006 11月15日~17日 (日本能率協会:協賛)
- ・第5回 Osaka Home Show2006 10月26日~28日 (日本能率協会:協賛)

11. EWEA (欧州風力エネルギー協会)日本支部として研究活動、啓発活動に協力

(会員数 36名 3月末日現在)

12. WWEA (世界風力エネルギー協会)日本支部と

して研究活動、啓発活動に協力

(会員数 25名 3月末日現在)

13. GWEC (世界風力会議)日本支部 (JWEA, JWPA事務局)として研究活動、啓発活動に協力

14. 会員の動向

入会: 団体会員 2団体 個人会員 29名
退会: 団体会員 8団体 個人会員 55名
なお、3月末日現在の会員数は、団体会員 86団体 (92口) 個人会員 463名 (内 学生会員 21名)

15. 協会表彰制度の実施

- ・シンポジウムにて論文ポスター賞7件授与
- ・太陽エネルギー学会との合同研究発表会 (第1回新エネルギー世界展示会)での小学生書画展において表彰
- ・三和プリントへの感謝状 (協会誌「風力エネルギー」の長年にわたる編集・印刷協力に対し)

16. 支部活動への支援

- ・九州支部での環境フェアにて 新エネルギー書画・写真展における表彰

日本風力エネルギー協会
2005年度(平成17年度)事業報告

自：2005年4月 1日
至：2006年3月31日

1. 理事会、総会の開催

4月14日に理事会、5月14日に理事会、総会を開催し、平成16年度事業報告、同収支決算報告及び第26回風力エネルギー利用シンポジウム決算報告、平成17年度事業計画、同収支予算計画及び役員交代の6つの議案を採択した。

12月28日、2月22日にGWEC国際シンポジウムを中心とした議題で理事会を開催した。

2. 企画・編集委員会の開催

6月7日、8月23日、9月29日、12月15日、3月17日、企画・編集委員会を開催し、協会誌の編集方針、第27回風力エネルギー利用シンポジウムの実施及び協会の運営等について検討を行った。

3. 協会誌の発行

第29巻 第1号(通巻73号)	2005年	5月発行	1100部
〃 第2号(通巻74号)	〃	8月発行	1100部
〃 第3号(通巻75号)	〃	11月発行	1100部
〃 第4号(通巻76号)	〃	2月発行	1000部

4. 風力エネルギー利用シンポジウムの開催(第27回)

共催：(財)日本科学技術振興財団

協賛：(中)日本風力発電協会、風力発電事業者懇話会、小型風力・太陽光発電普及協会

後援：文部科学省、経済産業省、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(独)産業技術総合研究所、(財)新エネルギー財団、(社)日本電機工業会、ターボ機械協会、日本太陽エネルギー学会、風力発電推進市町村全国協議会、エネルギー変換懇話会
日本風工学会

11月24日(木)～25日(金) 科学技術館/東京 (参加者346名)

5. 風力発電システム技術講習会の開催

2005年6月13日、6月27日、7月25日、8月8日、8月22日 合計5回 (参加登録者55名)

6. 風力関連学会の国内および国際会議への協会役員等の参加協力等

日本風工学会

World Wind Energy Conference & Renewable energy Exhibition

11月2-5日 メルボルン・オーストラリア

European Wind Energy Conference & Exhibition 2月27日-3月2日 アテネ・ギリシャ

7. 見学会の実施

・三菱重工業(株)長崎造船所 平成17年7月 8日(金)(50名)

・千葉銚子、茨城神栖市内の大型風力発電施設見学・説明会 平成18年3月18日(土)(91名)

(共催：日本太陽エネルギー学会、エネルギー変換懇話会)

8. 日本太陽エネルギー学会と共催の合同研究発表会

諏訪東京理科大学(長野県茅野市) 10月20日～22日

9. 風力利用事業に関する助言等普及啓発活動

風力発電推進市町村全国協議会他

- ・平成17年度風力発電推進市町村全国協議会シンポジウム 11月10日～11日
(風力発電推進市町村全国協議会：協賛)

1 0 . 国内の風力関連事業への支援

- ・再生可能エネルギー2006国際会議を共催し、その準備活動を支援
2006年10月9日～13日開催予定 幕張メッセ/千葉
- ・第5回風力エネルギー利用総合セミナー 6月24日～25日
(足利工業大学総合研究センター：後援)
- ・エコランド 2005 6月12日(山形県立川町：後援)
- ・第14回日本エネルギー学会大会 8月4日～5日(日本エネルギー学会：協賛)
- ・第11回流れふしぎ展 8月27日～28日(日本機械学会：協賛)
- ・第12回全国風サミット 5月19日～21日(愛知県田原市：共催)
- ・第4回自然エネルギー利用総合セミナー 11月18日～19日(足利工業大学：後援)
- ・日本地熱学会平成17年学術講演会 11月18日～20日(日本地熱学会：協賛)
- ・港湾・沿岸域における風力発電推進シンポジウム 7月19日
(沿岸技術研究センター：後援)
- ・第27回Japan Home & Building Show2005 11月8日～11日(日本能率協会：協賛)
- ・第4回ホームビルダーズエキスポOSAKA2005 11月17日～19日(日本能率協会：協賛)
- ・Photo コンテスト 8月1日～10月31日(風力発電協会：後援)
- ・IPEX2005第6回分散型エネルギーシステム総合展 11月30日～12月2日
(メサゴ・メッセフランクフルト：協賛)

1 1 . E W E A (欧州風力エネルギー協会) 日本支部として研究活動、啓発活動に協力
(会員数 36名 3月末日現在(会費未払い者は除く))

1 2 . W W E A (世界風力エネルギー協会) 日本支部として研究活動、啓発活動に協力

1 3 . G W E C (世界風力会議(仮訳)) 日本支部として研究活動、啓発活動に協力
GWEC設立記念「国際シンポジウム2005」を日本風力発電協会と共催で開催支援
2005年12月8日、9日 於：パシフィコ横浜

1 4 . 会員の動向

入会： 団体会員 3団体 個人会員 33名

退会： 団体会員 7団体 個人会員 79名(2年以上滞納者38名除名含む)

なお、3月末日現在の会員数は、団体会員92団体(98口) 個人会員489名(内 学生会員30名)

1 5 . 協会表彰制度の実施

- ・シンポジウムにて論文ポスター賞7件授与

1 6 . 支部活動への支援

関西支部への活動支援

風力エネルギー活用推進フォーラム - 地球環境時代を生き抜く -

「風力エネルギー活用の現状と推進可能性」

2005年11月18日 於：全日空ゲートタワーホテル大阪

2004年度(平成16年度)事業報告
自:2004年4月1日 至:2005年3月31日

1. 理事会、総会の開催

4月6日に理事会、5月8日に総会を開催し、平成15年度事業報告、同収支決算報告及び第25回記念風力エネルギー利用シンポジウム決算報告、平成16年度事業計画、同収支予算計画及び役員改選の6つの議案を採択した。

2. 企画・編集委員会の開催

5月29日、8月24日、10月2日、12月24日、3月16日、企画・編集委員会を開催し、協会誌の編集方針、第26回風力エネルギー利用シンポジウムの実施及び協会の運営等について検討を行った。

3. 協会誌の発行

第28巻 第1号(通巻69)	2004年	5月発行	1100部
" 第2号(通巻70)	"	8月発行	1100部
" 第3号(通巻71)	"	11月発行	1100部
" 第4号(通巻72)	2005年	2月発行	1100部

4. シンポジウム兼研究発表会の開催(第26回)

共催:(財)日本科学技術振興財団

協賛:日本風力発電協会、風力発電事業者懇話会

後援:文部科学省、経済産業省、新エネルギー産業技術総合開発機構、産業技術総合研究所、新エネルギー財団、ターボ機械協会、日本太陽エネルギー学会、風力発電推進市町村全国協議会、エネルギー変換懇話会

11月25~26日 科学技術館/東京 (参加者 370名)

5. 風力関連学会の国際会議への協会役員等の参加協力等

Wind Energy - International Trade Fair	5月11~14日	ハンブルク・ドイツ
World Renewable Energy Congress& Exhibition	8月28~9月3日	デンバー・アメリカ
World Wind Energy Conference & Exhibition	10月31~11月4日	北京・中国
European Wind Energy Conference & Exhibition	11月22~25日	ロンドン・イギリス

6. 見学会の実施

11月6日 北九州市・響灘ウインドファーム (共催:日本太陽エネルギー学会、エネルギー変換懇話会)

7. 風力関連の教育啓発活動

風力発電推進市町村全国協議会他

11月3日 文化の日に集う自然エネルギーワークショップ(共催:日本太陽エネルギー学会)
於:北九州市若松区赤崎小学校、北九州市立大学、

8. 日本太陽エネルギー学会との合同研究発表会

11月4日~5日 平成16年度日本太陽エネルギー学会・日本風力エネルギー協会合同研究発表会

- 1 -

共催:日本太陽エネルギー学会、北九州市若松区、北九州市環境局、九州自然エネルギー研究会

於:北九州研究学園都市・産学連携センター(北九州市)

9. 国内の風力関連事業への支援

第4回風力エネルギー利用総合セミナー	6月25日～27日 (足利工業大学総合研究センター：後援)
エコランド 2004	6月20日(山形県立川町：後援)
第13回日本エネルギー学会大会	7月29日～30日 (日本エネルギー学会：協賛)
第10回流れと遊ぶアイデアコンテスト	8月(日本機械学会：協賛)
第11回全国風サミット	10月13日～15日 (北海道稚内市：共催)
第5回風力エネルギー利用総合セミナー	10月25日26日 (足利工業大学総合研究センター：後援)
日本地熱学会平成16年学術講演会	12月1日～3日 (日本地熱学会：協賛)
COEワークショップ「CFDによる乱気流境界層のシミュレーション」	(東京工芸大学風工学研究センター：後援)

10. EWEA(欧州風力エネルギー協会)日本支部として研究活動や啓発活動に協力
(会員数 35名 3月末日現在)

11. WWEA(世界風力エネルギー協会)日本支部として研究活動や啓発活動に協力
(会員数 32名 3月末日現在)

12. 協会表彰制度の実施

・論文ポスター賞 授与	石原 猛(東京大学大学院)他3名
・論文ポスター賞 授与	加藤 隆行(三重大学大学院)他3名
・論文ポスター賞 授与	康 仁勝(鳥取大学大学院)他5名
・論文ポスター賞 授与	相良 啓太(東海大学)他2名
・論文ポスター賞 授与	佐々木 律子((財)日本気象協会)他3名
・論文ポスター賞 授与	谷川 亮一((株)CRCソリューションズ)他3名
・論文ポスター賞 授与	平井 滋登(三菱重工業(株))他3名

13. 会員の動向

入会： 団体会員 3団体 個人会員 54名

退会： 団体会員 8団体 個人会員 38名

なお、3月末日現在の会員数は、団体会員96団体 個人会員554名(内 学生会員44名)

14. 支部活動への支援

九州支部への活動支援(自然エネルギーワークショップ)

2003年度(平成15年度)事業報告

自：2003年4月1日 至：2004年3月31日

1. 理事会、総会の開催

5月10日総会を開催し、平成14年度事業報告、同収支決算報告及び第24回風力エネルギー利用シンポジウム決算報告、平成15年度事業計画、同収支予算計画及び役員交代の6つの議案を採択した。

2. 企画・編集委員会の開催

5月9日、7月24日、9月18日、12月18日、2月25日、企画・編集委員会を開催し、協会誌の編集方針、第25回記念風力エネルギー利用シンポジウムの実施及び協会の運営等について検討を行った。

3. 協会誌の発行

第27巻 第1号(通巻65)	2003年	4月発行	1100部
" 第2号(通巻66)	"	6月発行	1100部
" 第3号(通巻67)	"	9月発行	1100部
" 第4号(通巻68)	2004年	1月発行	1100部

4. シンポジウム兼研究発表会の開催(第25回記念)

共催：(財)日本科学技術振興財団

協賛：日本風力発電協会、風力発電事業者懇話会

後援：文部科学省、経済産業省、新エネルギー・産業技術総合開発機構、産業技術総合研究所、新エネルギー財団、ターボ機械協会、日本太陽エネルギー学会、風力発電推進市町村全国協議会、エネルギー変換懇話会

11月19～20日 科学技術館/東京 (参加者 404名)

5. 風力関連学会の国際会議への協会役員等の参加協力等

Offshore Wind Energy in Mediterranean and other European Seas

4月10～12日 ナポリ・イタリア

European Wind Energy Congress

6月16～20日 マドリッド・スペイン

World Wind Energy Conference

11月23～26日 ケープタウン・南アフリカ

韓国風力エネルギー協会シンポジウム

12月5日 全州市・韓国

6. 見学会の実施

東京都地球温暖化阻止先導施設「東京臨海風力発電所」、「水素供給スタンド」見学

7月29日 (共催：日本太陽エネルギー学会、エネルギー変換懇話会)

足利工業大学「風と光の広場」、太田市役所「太陽電池利用窓庁舎」、電力中央研究所赤城試験センター見学

11月8日 (合同：日本太陽エネルギー学会)

7. 風力関連の教育啓発活動

風力発電推進市町村全国協議会他

1

8. 日本太陽エネルギー学会との合同研究発表会

足利工業大学 11月6～7日

9. 国内の風力関連事業への支援

- 第3回風力エネルギー利用総合セミナー 6月27～28日
(足利工業大学総合研究センター：後援)
- エコランド 2003 6月15日(山形県立川町：後援)
- 日本エネルギー学会第12回年次大会 7月30～31日(日本エネルギー学会：協賛)
- 第9回流れと遊ぶアイデアコンテスト 8月23日(神奈川工科大学：協賛)
- 第10回全国風サミット 10月6～8日(岩手県浄法寺町：共催)
- CFDによる局所的風況予測システム-LAWEPSから始まる風車適地選定-
11月10日(シンポジウム実行委員会：協賛)
- 第5回分散型発電システム&新エネルギー総合展11月11～13日(IPPEX2003実行委員会：協賛)
- 自然エネルギーフォーラム 11月21～23日(東北大学：協賛)
- 日本地熱学会平成15年学術講演会 11月21～23日(日本地熱学会：協賛)
- 秋田発・新小型風車研究開発セミナー 2月13日(秋田風力発電研究会：後援)
- 第61回セミナー「風力発電：日本における風力発電の現状及び課題と対策」
3月15日(ターボ機械協会：協賛)

10. EWEA(欧州風力エネルギー協会)日本支部として研究活動や啓発活動に協力
(会員数 36名 3月末日現在)

11. WWEA(世界風力エネルギー協会)日本支部として研究活動や啓発活動に協力
(会員数 34名 3月末日現在)

12. 協会表彰制度の実施

- 功労賞 授与 清水 幸丸(三重大学教授)
- 功労賞 授与 小島 剛(オフィス・エコロジー(株)代表取締役社長)
- 功労賞 授与 高月 一((株)阪神技術研究所非常勤顧問)
- 功労賞 授与 対馬 健(元 三菱重工業(株)長崎造船所風車設計技師)
- 功労賞 授与 関 和市(東海大学教授)
- 功労賞 授与 松宮 輝((独)産業技術総合研究所主任研究員)

- 論文ポスター賞 授与 石原 孟(東京大学大学院)他3名
- 論文ポスター賞 授与 井上 厚助(三菱重工業(株))他3名
- 論文ポスター賞 授与 内田 孝紀(九州大学応用力学研究所)他3名
- 論文ポスター賞 授与 相良 啓太(東海大学)他3名
- 論文ポスター賞 授与 平井 滋登(三菱重工業(株))他5名
- 論文ポスター賞 授与 守屋 智弘(鳥取大学大学院)他4名

13. 会員の動向

- 入会： 団体会員 7団体 個人会員 63名
- 退会： 団体会員 7団体 個人会員 46名

なお、3月末日現在の会員数は、団体会員101団体 個人会員505名(内 学生会員27名)

平成14年度事業報告

2002年度（平成14年度）事業報告

自：2002年4月1日至：2003年3月31日

1. 理事会、総会の開催

5月11日理事会、総会を開催し、平成13年度事業報告、同収支決算報告、平成14年度事業計画、同収支予算計画及び役員改選の5つの議案を採択した。

6月27日緊急理事会を開催し、平成14年度追加4事業計画及び役員役割分担の議案を採択した。また、国際会議開催議案については不採択とした。

2. 企画・編集委員会の開催

5月11日、7月30日、9月20日、12月6日、2月14日、企画・編集委員会を開催し、協会誌の編集方針、第24回風力エネルギー利用シンポジウムの実施及び協会の運営等について検討を行った。

3. 協会誌の発行

- ・第26巻第1号 2002年4月発行 1100部
- ・第26巻第2号 2002年6月発行 1100部
- ・第26巻第3号 2002年9月発行 1100部
- ・第26巻第4号 2002年12月発行 1100部

4. シンポジウム兼研究発表会の開催

第24回風力エネルギー利用シンポジウム

協賛：日本風力発電協会、風力発電事業者懇話会

後援：文部科学省、経済産業省、新エネルギー・産業技術総合開発機構、新エネルギー財団、ターボ機械協会、日本太陽エネルギー学会、風力発電推進市町村全国協議会、エネルギー変換懇話会

11月20日・21日科学技術館／東京（参加 369名）

5. 風力関連学会の国際会議への協力

2002 Global Windpower Conference and Exhibition 4月2～5日 パリ・フランス

World Renewable Energy Congress 7月1～5日 ケルン・ドイツ

1st World Wind Energy Conference 7月2～6日 ベルリン・ドイツ

自然エネルギーを用いた海水淡水化に関するフォーラム(後援)

10月15～16日 コロール・パラオ

自然エネルギーを用いた海水淡水化に関するフォーラムin佐賀(後援)

3月14～15日 佐賀市、伊万里市

6. 見学会の実施

- ・青森県・下北地区風力発電所、(財)環境科学技術研究所見学 9月26～27日
(共催：日本太陽エネルギー学会)
- ・東北電力本店、アースクリーン東北(ソーラーリサーチオフィス) 11月9日
(合同：日本太陽エネルギー学会)

7. 風力利用事業に関する普及啓発活動

洋上風力発電最新情報について特別講演会開催5月21日東京

8. 日本太陽エネルギー学会との合同研究発表会

11月7～8日仙台

9. 国内の風力関連事業への支援

- ・御前崎さわやか風車シンポジウム6月1日(クリーンエネルギー・フォーラム：後援)
 - ・風力エネルギー利用総合セミナー6月(足利工業大学総合研究センター：後援)
 - ・エコランド2002 6月～11月(山形県立川町：後援)
- シンポジウム：
- ・風力発電タービンの最適立地探査法7月31日(日本気象協会他：後援)
 - ・日本エネルギー学会80周年記念大会8月1～2日(日本エネルギー学会：協賛)
 - ・第8回流れと遊ぶアイデアコンテスト8月24日(神奈川工科大学：協賛)
 - ・講習会「環境共生型地域づくりと新エネルギー利用」10月11日(日本機械学会中国・四国支部：共催)
 - ・第9回全国風サミット10月16～18日(宮崎県北方町：共催)
 - ・自然エネルギー利用総合セミナー10月25～26日
(足利工業大学総合研究センター：後援)
 - ・シンポジウム及び物づくり教室10月27～28日(九州支部、台北科技大学：支援)
- 座談会「分散型エネルギー源の開発」11月25日(日本機械学会：協賛)
- 講習会「風力発電：技術と事業の動向」3月14日(ターボ機械協会：協賛)

10. EWEA(欧州風力エネルギー協会)

日本支部として関連事業への協力(会員数37名 3月末日現在)

11. 協会表彰制度の実施

- ・論文ポスター賞授与 石原 孟(東京大学大学院)他3名
- ・論文ポスター賞授与 石川 尚(名古屋大学大学院)他5名
- ・論文ポスター賞授与 谷川 亮太(CRCソリューションズ)他5名
- ・論文ポスター賞授与 相良 啓太(東海大学)他4名

・論文ポスター賞授与 安齋 歩（足利工業大学大学院）他 2 名

1 2. 会員の動向

団体会員 9 団体

個人会員 6 1 名 の入会

なお、3 月末日現在の会員数は団体会員 1 0 5 団体、個人会員 5 2 6 名（うち学生会員 3 7 名）

1 3. 支部活動

九州支部「シンポジウム及びものづくり教室（小中高生）」 事業費補助（台北科技大学）

関西支部講習会「環境共生型地域づくりと新エネルギー利用」 事業費補助（鳥取大学）

平成 13 年度事業報告

2001 年度（平成 13 年度）事業報告

自：2001 年 4 月 1 日 至：2002 年 3 月 31 日

1. 理事会、総会の開催

5 月 12 日理事会、総会を開催し、平成 12 年度事業報告、同収支決算報告、平成 13 年度事業計画、同収支予算計画の 4 つの議案を採択した。

2. 企画・編集委員会の開催

5 月 12 日、7 月 25 日、10 月 1 日、1 月 10 日、3 月 26 日、企画・編集委員会を開催し、協会誌の編集方針、第 23 回風力エネルギー利用シンポジウムの実施及び協会の運営等について検討を行った。

3. 協会誌の発行

- ・第 25 巻 第 1 号 2001 年 4 月発行 1000 部
- ・第 25 巻 第 2 号 2001 年 6 月発行 1000 部
- ・第 25 巻 第 3 号 2001 年 9 月発行 1000 部
- ・第 25 巻 第 4 号 2001 年 12 月発行 1000 部

4. シンポジウム兼研究発表会の開催

第 23 回風力エネルギー利用シンポジウム

協賛：（財）日本科学技術振興財団

後援：文部科学省、新エネルギー・産業技術開発機構、新エネルギー財団、ターボ機械協会、

日本太陽エネルギー学会、風力発電推進市町村全国協議会、エネルギー変換懇話会

2001 年 11 月 21 日・22 日

科学技術館／東京（参加 303 名）

5. 風力関連学会の国際会議への協力

Wind Power 2001	2001年6月	ワシントン・アメリカ
European Wind Energy Conference & Exhibition	2001年7月	コペンハーゲン・デンマーク
風工学に関する第5回アジア太平洋地区国際会議	2001年10月	京都・日本
ISES 2001 Solar World Congress	2001年11～12月	アデレード・オーストラリア

6. 見学会の実施

- ・福島県天栄村風力発電施設見学 2001年9月7日
- ・秋田県仁賀保高原風力発電所見学 2001年10月11日・12日
- ・香川県サンホート高松太陽光発電施設見学 2001年11月10日

7. 風力利用事業に関する普及啓発活動 ・北海道 えりも町・苫前町

- ・岩手県 葛巻町
- ・山形県 立川町
- ・東京都 八丈町 神津村
- ・福井県 福井市
- ・三重県 久居市
- ・山口県 徳山市
- ・愛媛県 肱川町
- ・福島県 天栄村 etc.

8. 風力関連の教育啓発活動

おもしろゼミナール「遊びながら学ぶ風車発電」 8月17日 三重大学・久居市
風の学校 環境まちづくり・地域学講座 11月22日 山形県立川町

9. 日本太陽エネルギー学会との合同研究発表会

11月8～10日 於 香川県志度町 徳島文理大学

10. 風力関連事業への支援

第8回全国風サミット 9月5～7日（福島県天栄村：共催）

自然エネルギー館・セミナー 10月25～26日（兵庫県北淡町：共催）

エコランド2001 6月～11月（山形県立川町：後援）

風力発電ビジネス研究セミナー2001 4月～9月（地球文明リサーチセンター：後援）

風力エネルギー利用総合セミナー 6月（足利工業大学総合研究センター：後援）

自然エネルギー利用総合セミナー 10月（足利工業大学総合研究センター：後援）

新エネルギー・再生可能エネルギー普及利用シンポジウム 3月

（東海大学総合科学技術研究所：後援）

第7回流れと遊ぶアイデアコンテスト 8月（神奈川工科大学：協賛）

「新エネルギー技術開発の現状と将来展望」セミナー 7月～3月（日本エネルギー学会：協賛）

European Wind Energy Conference & Exhibition 視察 7月（近畿日本ツーリスト：協賛）

風力発電展示会出席及び欧州風力発電技術調査 9月（近畿日本ツーリスト：協賛）

4回分散型発電システム & コージェネレーション総合展 12月（IPEX実行委員会：協賛）

11. EWEA（欧州風力エネルギー協会）

日本支部として関連事業への協力（会員数40名 2002年3月31日現在）

12. 協会表彰制度の実施

- ・論文ポスター賞 授与 萩原 貴之（東海大学総合科学技術研究所）ほか3名
- ・論文ポスター賞 授与 長谷川 豊（名古屋大学大学院工学研究科）ほか3名
- ・論文ポスター賞 授与 大黒 靖之（足利工業大学大学院）ほか3名
- ・論文ポスター賞 授与 徳山 榮基（那須電機鉄工(株)）ほか2名

13. 会員の動向

団体会員 25団体

個人会員 75名 の入会

なお、3月末日現在の会員数は団体会員104団体、個人会員545名（うち学生会員30名）

14. 支部活動

関西支部の活動再開（10月）